



第61期 決算データ分析資料

令和5年(2023)12月期 第3四半期

発行元: **トラスコ中山株式会社** (証券コード: 9830)

経営管理本部 経営企画部 広報IR課

〒105-0004 東京都港区新橋四丁目28番1号 トラスコフィオリートビル10F

TEL: 03-3433-9840 FAX: 03-3433-9881

E-mail: info@trusco.co.jp



目次

01. 会社案内 P.3

会社概要
ビジネスフロー

02. 全社経営実績 P.6

決算ハイライト
【連結】経営成績・経営計画
【連結】月次売上高
【連結】セグメント別月次売上高

03. 販売実績 P.12

【連結】セグメント別実績・経営計画
【親単体】商品分類別売上高
【親単体】商品分類別(小分類)売上高増減グラフ
【親単体】プライベート・ブランド(PB)商品売上高

本資料には、将来の業績見通しおよび事業計画に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化等により、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、当社は現時点での最新情報に更新する義務を負っていません。

04. 財務等実績 P.22

【連結】販売費及び一般管理費
【連結】販売費及び一般管理費 詳細
【連結】財務諸表・財務指標
【連結】設備投資一覧
今期の主な設備投資

05. 各種重要指標 P.28

デジタル／商品／販売／物流／人事

06. 経営計画 P.35

【連結】第61期通期予算について
【連結】四半期ごとの実績・予算(四半期)
【連結】四半期ごとの実績・予算(累計)
ありがたい姿—能力目標—

07. ESG情報 P.40

TRUSCO「やさしさ、未来へ」プロジェクト
サステナビリティに関する指標
その他、環境に係る施策や取り組み
社会との関わり・コーポレートガバナンス

08. 参考情報 P.46

株式情報
業界での指数比較
当社売上高指数・鉱工業生産指数

01

会社案内

会社概要

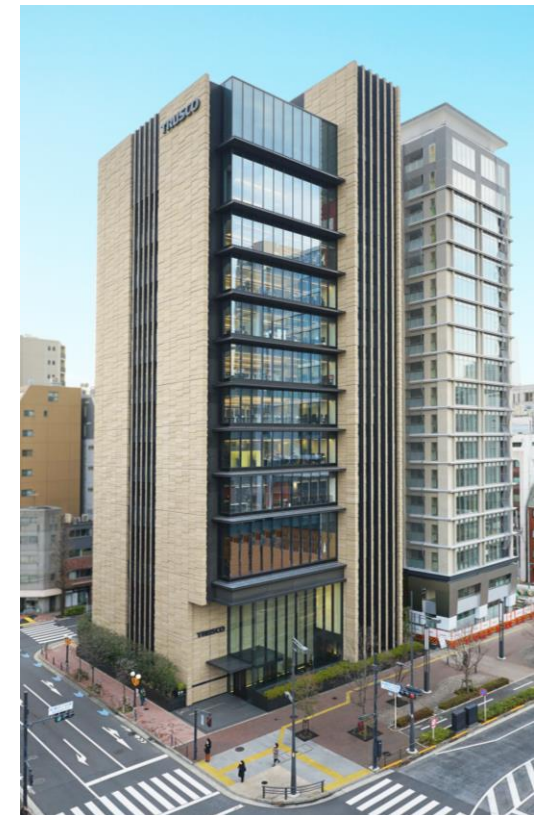
ビジネスフロー

会社概要

会社名	トラスコ中山株式会社
創業	昭和34年(1959)5月15日
代表者	代表取締役社長 中山 哲也 公益財団法人 中山視覚福祉財団 理事長 全日本機械工具商連合会 副会長 大阪機械器具卸商協同組合 理事長
本社事務所	東京本社(東京都港区・本店登記) 大阪本社(大阪市西区)
拠点数	計94か所 国内拠点89か所(本社2か所、国内営業拠点59か所、国内物流拠点28か所) 海外拠点5か所(現地法人:トラスコナカヤマ タイランド、トラスコナカヤマ インドネシア、 仕入先開拓オフィス:ドイツ、台湾、タイ)
資本金	50億2,237万円
証券取引所	東証プライム(証券コード:9830)
従業員数	3,025名(連結)
格付状況	シングル A (株式会社格付投資情報センター)
事業内容	生産現場で必要とされる作業工具、測定工具、切削工具をはじめ、あらゆる工場用副資材(プロツール)の卸売業。総合カタログ「トラスコ オレンジブック」、検索サイト「トラスコ オレンジブック.Com」によりモノづくり現場の資材調達の利便性向上を使命に企業活動を行う。

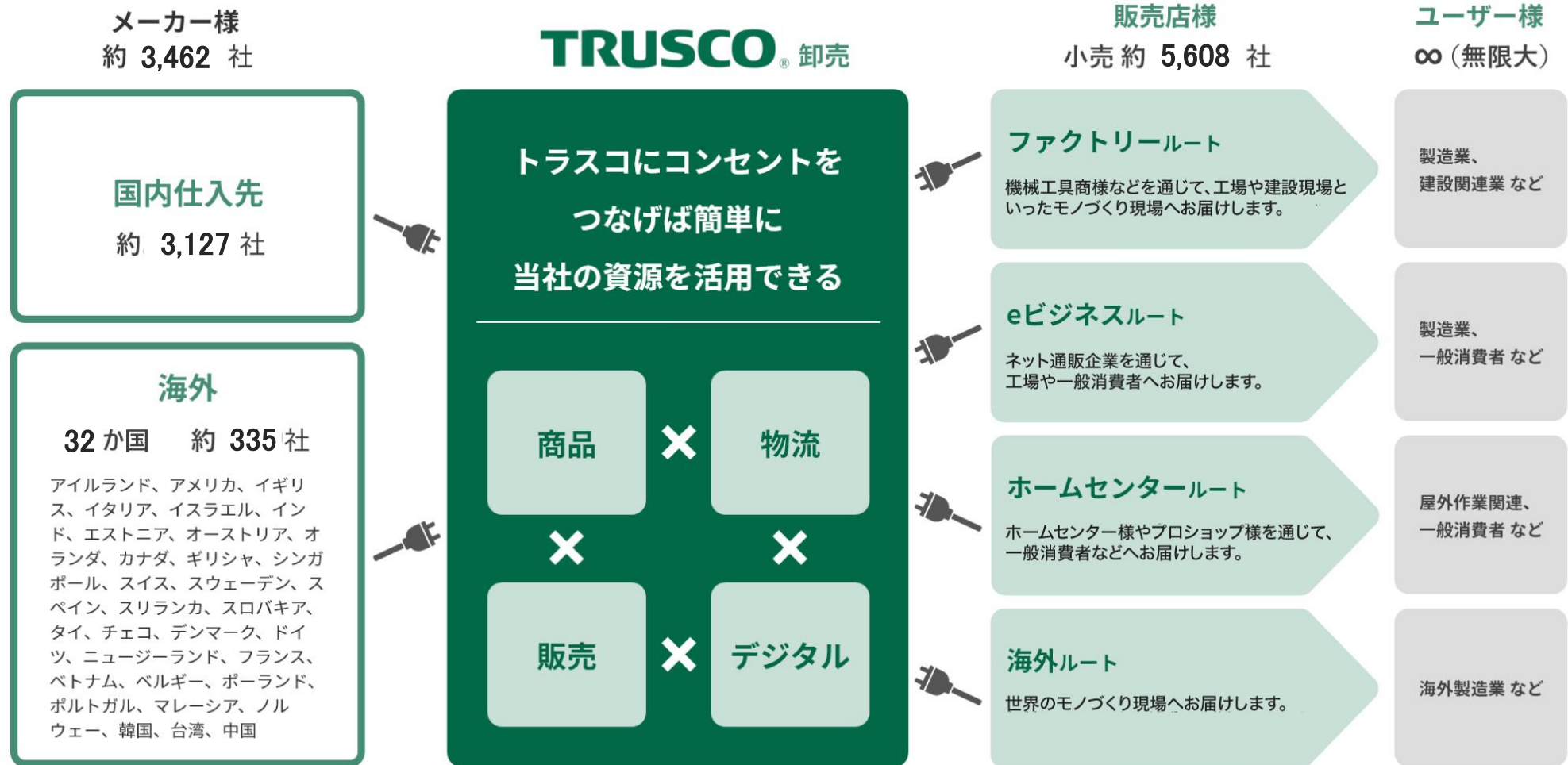
企業メッセージ

「がんばれ!!日本のモノづくり」®



東京本社 トラスコフィオリートビル(東京都港区)

ビジネスフロー



02

全社経営成績

決算ハイライト

【連結】経営成績・経営計画

【連結】月次売上高

【連結】セグメント別月次売上高

決算ハイライト

■第61期 第3四半期実績について

売上高	 1,965億83百万円 (前期比+8.7%)	・約57万アイテムの豊富な在庫と最先端の物流機器を活用した「ニアワセ+ユーチョク」(荷物詰合わせ+ユーザー様直送)の利用促進の強化をはじめとするお客様の利便性向上と環境負荷軽減に貢献する施策により増加
売上総利益率	21.2% (前期末比±0.0pt)	・仕入先様からの改定依頼が継続しており、順次価格転嫁を進めている ・第2四半期で発生した改定価格による利益への影響は第3四半期では発生しない
販売費及び一般管理費	 284億45百万円 (前期比△0.6%)	・売上高増加に伴い運賃荷造費が増加、月次インセンティブ支給等により給料及び賞与が増加したものの、減価償却費、支払手数料が減少
親会社株主に帰属する 四半期純利益	 87億68百万円 (前期比+35.5%)	・売上高の拡大、第2四半期で発生した価格改定前に旧価格で仕入れた商品の改定価格での販売による売上総利益率の上昇、減価償却費等の販売費及び一般管理費の減少により、前期比+35.5%

■第61期 通期見通しについて

	計画	前期比
売上高	2,660億80百万円	+8.0%
売上総利益	569億70百万円	+9.2%
販売費及び一般管理費	390億40百万円	+4.1%
経常利益	182億20百万円	+20.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	121億90百万円	+14.7%

・「ニアワセ+ユーチョク」をはじめとするお客様の利便性向上と環境負荷軽減に貢献する施策により売上増加を見込んでいます

・仕入先様より価格改定改定依頼が継続していることを考慮し、約5億円の売上総利益増加を見込んでいます

【連結】経営成績

	令和4年(2022)12月期 通期 実績			令和5年(2023)12月期 第3四半期 実績			
	実績	構成比	前期比	実績	構成比	前期比	予算比
売上高	2,464億53百万円	-	+8.6%	1,965億83百万円	-	+8.7%	+0.1%
売上総利益	521億60百万円	21.2%	+9.4%	416億7百万円	21.2%	+10.2%	△0.1%
販売費及び一般管理費	374億93百万円	15.2%	+8.1%	284億45百万円	14.5%	△0.6%	△1.2%
(うち減価償却費)	66億67百万円	2.7%	△3.8%	47億20百万円	2.4%	△6.0%	△1.9%
営業利益	146億67百万円	6.0%	+12.8%	131億62百万円	6.7%	+44.1%	+2.4%
経常利益	150億65百万円	6.1%	+11.1%	132億15百万円	6.7%	+40.6%	+1.4%
親会社株主に属する当期(四半期)純利益	106億26百万円	4.3%	△8.4%	87億68百万円	4.5%	+35.5%	+1.5%
1株当たり当期(四半期)純利益	161円15銭	-	△14円71銭	132円98銭	-	+34円86銭	+1円96銭
PB売上高	458億76百万円	18.6%	+5.6%	360億87百万円	18.4%	5.8%	-
設備投資額	47億99百万円	-	-	101億50百万円	-	-	-

ポイント

- ・売上高
前期比+8.7%、予算比+0.1%
在庫、物流の仕組みや各種取組みによる売上高増加
- ・売上総利益率
前期末比±0pt
仕入先様からの価格改定依頼が継続しており、順次価格転嫁を進めている
- ・販売費及び一般管理費
前期比△0.6%、予算比△1.2%
(増加)運賃及び荷造費 など
(減少)減価償却費 など
- ・親会社株主に帰属する四半期純利益
前期比+35.5%、予算比+1.5%
売上高拡大、粗利率上昇、販売費及び一般管理費減少 など

【連結】経営計画

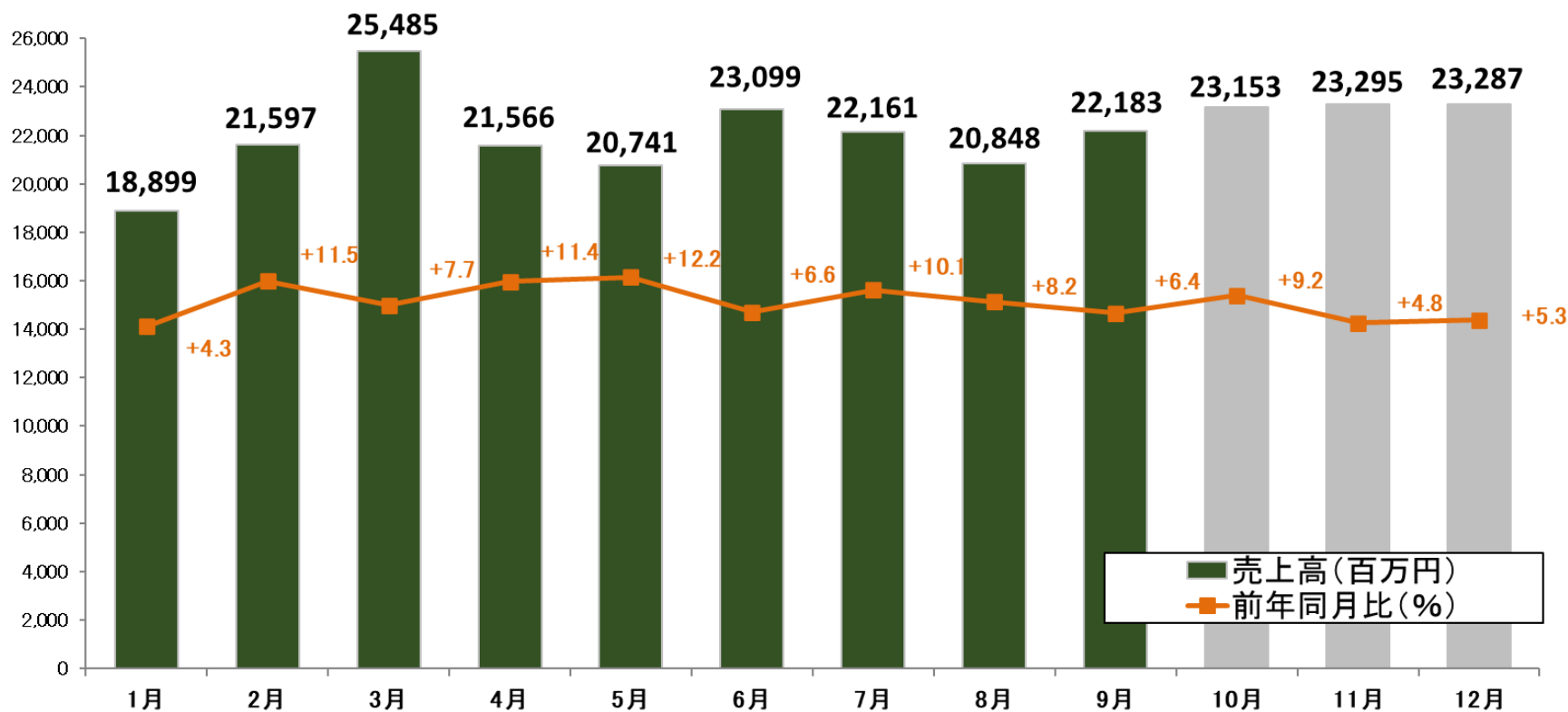
※令和5年(2023)8月10日発表の修正予算となります。

	令和5年(2023)12月期 第4四半期 予算			令和5年(2023)通期予算※	
	予算	構成比	前期比	予算	前期比
売上高	697億35百万円	-	+6.4%	2,660億80百万円	+8.0%
売上総利益	153億36百万円	22.0%	+6.5%	569億70百万円	+9.2%
販売費及び一般管理費	102億58百万円	14.7%	+15.6%	390億40百万円	+4.1%
(うち減価償却費)	15億86百万円	2.3%	△3.7%	64億2百万円	△4.0%
営業利益	50億78百万円	7.3%	△8.2%	179億30百万円	+22.2%
経常利益	51億84百万円	7.4%	△8.5%	182億20百万円	+20.9%
親会社株主に属する 当期(四半期)純利益	35億50百万円	5.1%	△14.6%	121億90百万円	+14.7%
1株当たり 当期(四半期)純利益	53円83銭	-	△9円20銭	184円86銭	+23円71銭
1株当たり配当金	23円50銭	-	±0円	46円50銭	+6円50銭
設備投資額	34億68百万円	-	-	136億18百万円	-

修正予算のポイント

- ・売上高
上期実績と下期期初予算にて策定
- ・売上総利益率
価格改定前に仕入れた在庫商品を改定価格で販売による利益への影響を約5億円考慮
- ・販売費及び一般管理費
上期の実績を元に変更
- ・親会社株主に帰属する
四半期純利益
売上高の拡大、価格改定前に仕入れた在庫商品を改定価格で販売した影響による利益幅拡大、減価償却費をはじめとする販売費及び一般管理費減少による影響

【連結】月次売上高



■ 実績(1-9月)
■ 予算(10-12月)※8月10日修正予算

・製造現場で使用されている消耗品は日々コンスタントに注文されるため、当社は1日当たりの売上高を重視しています。また、多くの企業の決算月である3月は売上高が大きい繁忙期となっています。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
営業日数(日)	19	19	22	20	20	22	20	22	20	21	20	21	246
前年同月比(日)	+1	+1	±0	±0	+1	±0	±0	±0	±0	+1	±0	△1	+3
1日当たり売上高(百万円)	995	1,137	1,158	1,078	1,037	1,050	1,108	948	1,109				-
前年同月比(%)	△ 1.2	+ 5.6	+ 7.7	+ 11.4	+ 12.2	+ 6.6	+ 10.1	+ 8.2	+ 6.4				-

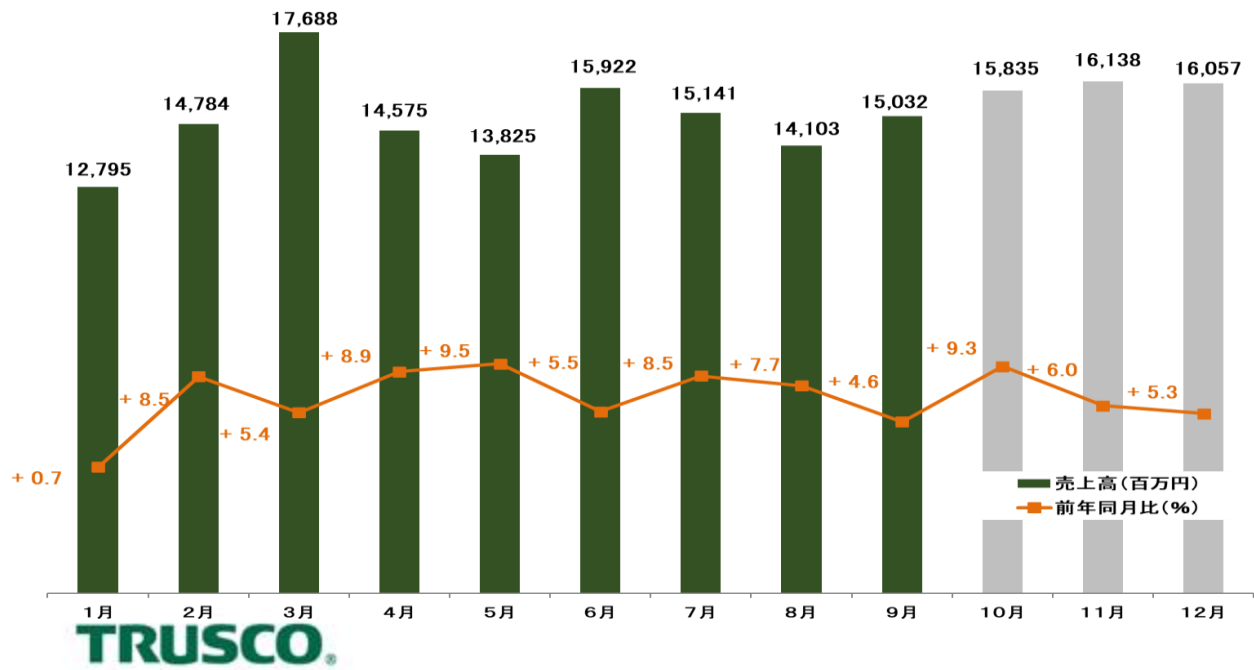
※令和4年4月1日より、休日をカレンダー通りに変更したため、営業日数が前年と比較し増加しております。

【連結】セグメント別月次売上高

※令和4年4月1日より、休日をカレンダー通りに変更したため、営業日数が前年と比較し増加しております。

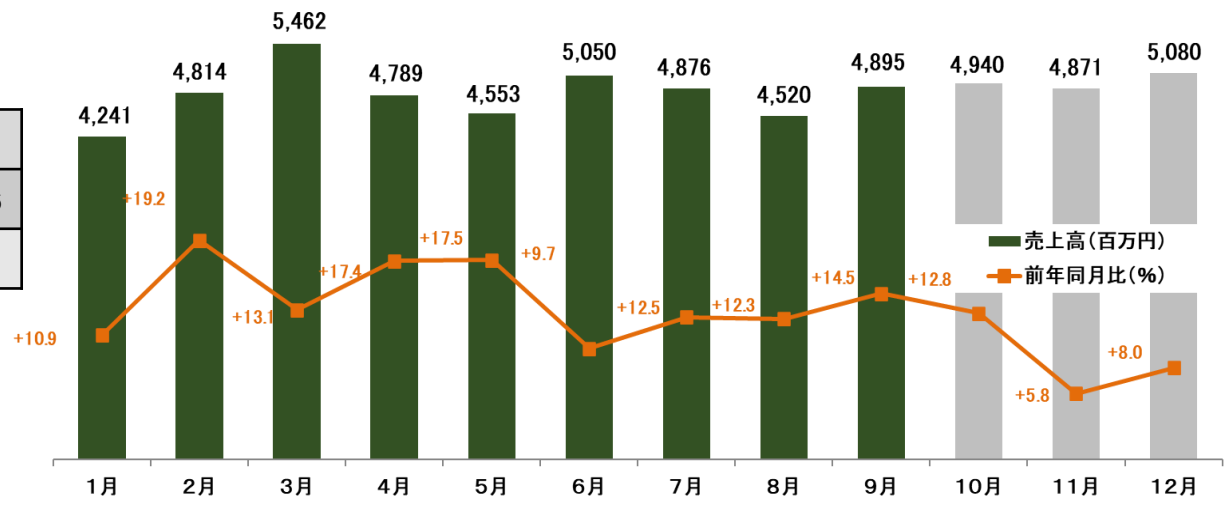
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
営業日数	19	19	22	20	20	22	20	22	20	21	20	21	246
前年同期比	+1	+1	±0	±0	+1	±0	±0	±0	±0	+1	±0	△1	+3

ファクトリールート

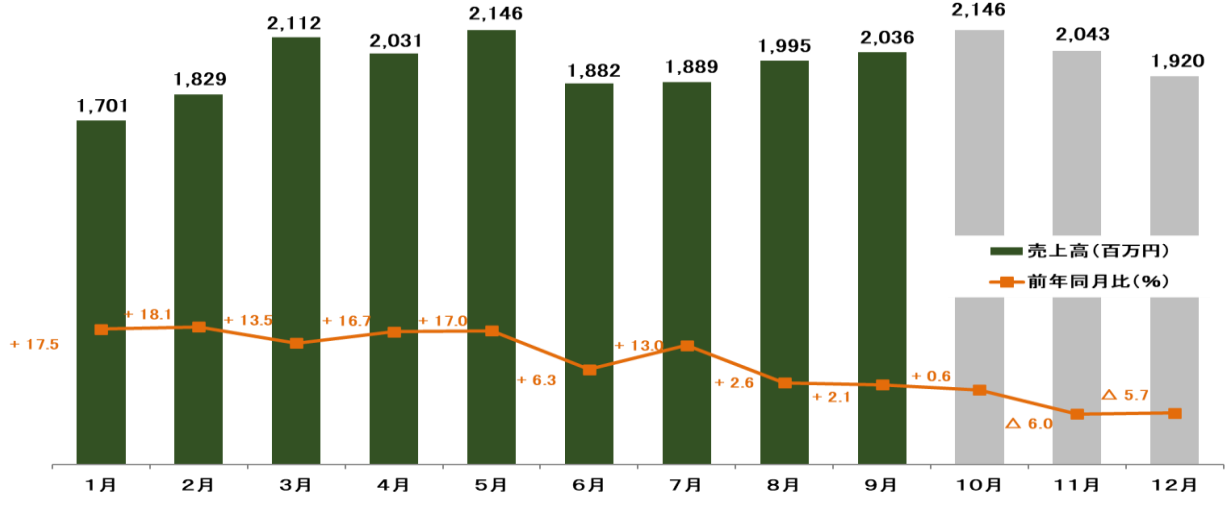


eビジネスルート

■ 実績(1-9月)
■ 予算(10-12月)
※8月10日修正予算



ホームセンタールート



03

販売実績

【連結】セグメント別実績・経営計画

- ・ファクトリールート
- ・eビジネスルート
- ・ホームセンタールート
- ・子会社業績

【親単体】商品分類別売上高増減グラフ

【親単体】商品分類別売上高

【親単体】プライベート・ブランド(PB)商品売上高

【連結】セグメント別実績

ファクトリールート: 構成比68.1% (前期比+6.6%) eビジネスルート: 構成比22.0% (前期比+14.0%)
ホームセンタールート: 構成比9.0% (前期比+11.4%) 海外ルート: 構成比0.9% (前期比+19.3%)

	令和4年(2022)12月期 通期 実績				令和5年(2023)12月期 第3四半期 実績					
	売上高			売上 総利益率	売上高				売上 総利益率	
販売ルート	実績	構成比	前期比	実績	実績	構成比	前期比	予算比	実績	前期末比
ファクトリー ルート	1,706億6百万円	69.2%	+5.1%	21.2%	1,338億71百万円	68.1%	+6.6%	△0.1%	21.2%	±0pt
eビジネス ルート	515億76百万円	20.9%	+16.2%	22.1%	432億4百万円	22.0%	+14.0%	+0.5%	21.9%	△0.2pt
ホームセンター ルート	221億62百万円	9.0%	+20.7%	17.4%	176億26百万円	9.0%	+11.4%	+1.1%	17.2%	△0.2pt
海外 ルート	21億8百万円	0.9%	+24.4%	35.8%	18億81百万円	0.9%	+19.3%	△2.6%	34.6%	△1.2pt
全社合計	2,464億53百万円	100.0%	+8.6%	21.2%	1,965億83百万円	100.0%	+8.7%	+0.1%	21.2%	±0pt

【連結】セグメント別経営計画

※令和5年(2023)8月10日発表の修正予算となります。

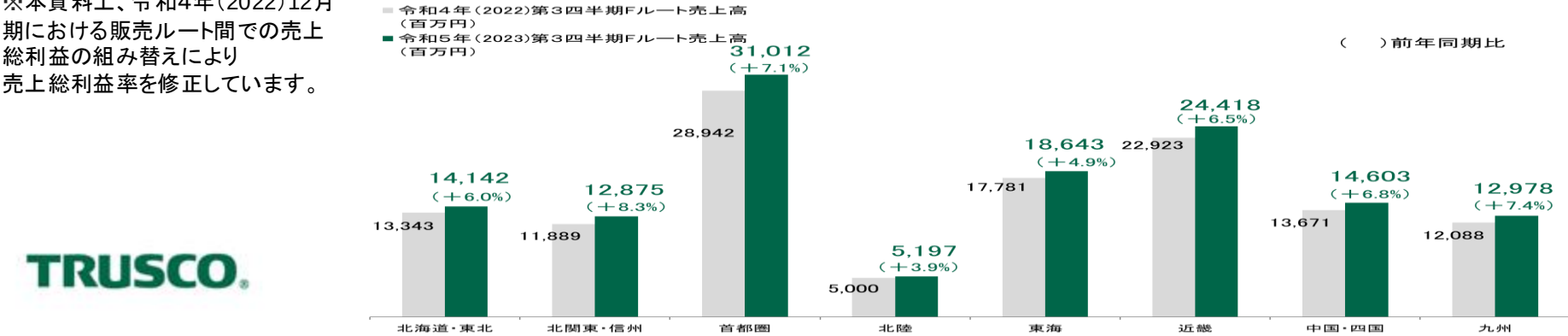
	令和5年(2023)12月期 第4四半期 予算			令和5年(2023)12月期 通期予算※	
	売上高			売上高	
販売ルート	予算	構成比	前期比	予算	前期比
ファクトリー ルート	480億32百万円	68.9%	+6.8%	1,820億11百万円	+6.7%
eビジネス ルート	148億92百万円	21.4%	+8.8%	578億85百万円	+12.2%
ホームセンター ルート	61億9百万円	8.8%	△3.7%	235億51百万円	+6.3%
海外 ルート	6億97百万円	0.9%	+31.4%	26億31百万円	+24.8%
全社合計	697億32百万円	100.0%	+6.4%	2,660億80百万円	+8.0%

【連結】セグメント別実績（ファクトリールート）

機械工具商様などを通じて、工場や建設現場といったモノづくり現場へ商品をお届けするルートです。製造業の景況感コロナ前に戻っていない中、豊富な在庫を保有することや各種取組みを実施することで、売上高は前期比+6.6%となりました。

販売ルート	令和4年(2022)12月期 通期 実績			令和5年(2023)12月期 第3四半期 実績				
	売上高		売上総利益率	売上高			売上総利益率	
	実績	構成比	実績	実績	構成比	前期比	実績	前期末比
機械工具商	869億8百万円	50.9%	21.5%	667億52百万円	49.9%	+4.0%	21.9%	+0.4pt
溶接材料商	242億6百万円	14.2%	20.7%	192億5百万円	14.3%	+8.3%	20.6%	△0.1pt
その他製造関連 (理化学・伝導機・梱包材商など)	279億42百万円	16.4%	20.3%	224億74百万円	16.8%	+8.8%	19.8%	△0.5pt
建設関連	315億48百万円	18.5%	21.5%	254億39百万円	19.0%	+10.2%	21.3%	△0.2pt
ファクトリールート合計	1,706億6百万円	100.0%	21.2%	1,338億71百万円	100.0%	+6.6%	21.2%	±0pt

※本資料上、令和4年(2022)12月期における販売ルート間での売上総利益の組み替えにより売上総利益率を修正しています。



ポイント

- ・豊富な在庫を保有することで、得意先様への即納体制、ワンストップ購買が可能になると同時に、複数のご注文品を一つの箱にまとめて出荷する「ニアワセ」(荷物詰合わせ)や「ユーチョク」(ユーザー様直送)も可能となりました。
- ・工場内でいつでも商品調達が可能となる「MROストッカー」や修理工房「直治郎」の取組みの強化など、環境負荷軽減につながる営業活動を実施しました。



【連結】セグメント別実績（eビジネスルート）

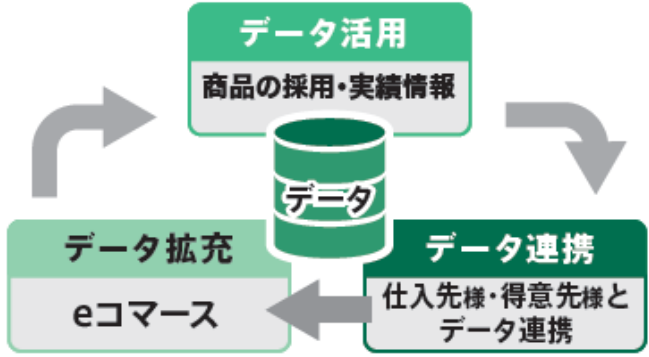
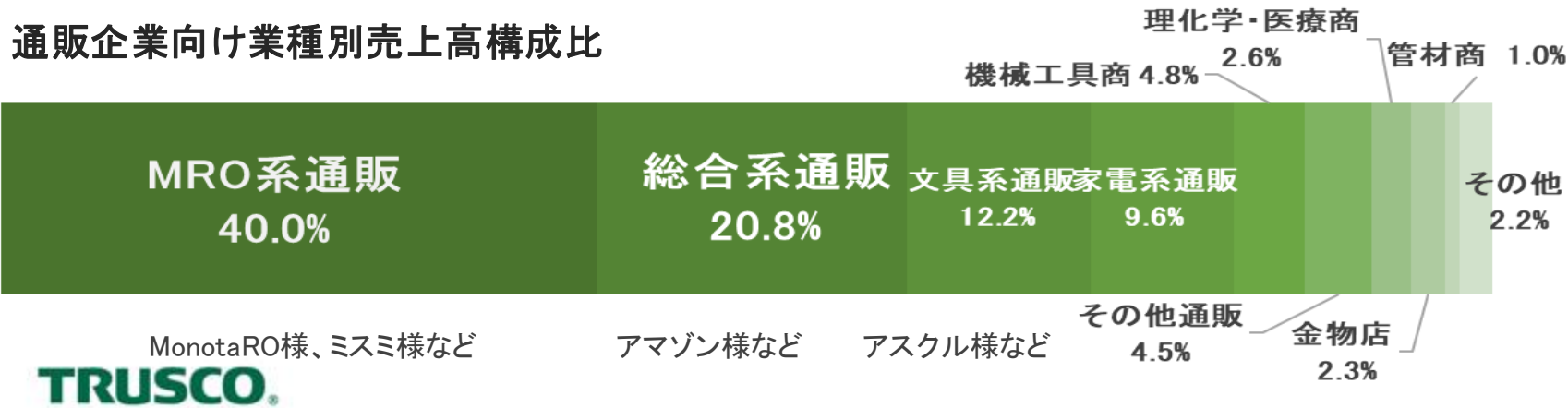
ネット通販企業様を通じて、工場や建設現場等のモノづくり現場、一般消費者へ商品をお届けするルートです。
商品データとシステム連携、ご要望に合わせた物流加工により、利便性向上を実現し、売上高は前期比+14.0%となりました。

	令和4年(2022)12月期 通期 実績			令和5年(2023)12月期 第3四半期 実績				
販売ルート	売上高		売上総利益率	売上高			売上総利益率	
	実績	構成比	実績	実績	構成比	前期比	実績	前期末比
通販企業向け	401億48百万円	77.8%	20.9%	329億13百万円	76.2%	+11.7%	20.7%	△0.2pt
オレンジコマース(電子購買) 連携企業向け、MROストッカー	114億28百万円	22.2%	26.3%	102億90百万円	23.8%	+22.2%	25.9%	△0.4pt
eビジネスルート合計	515億76百万円	100.0%	22.1%	432億4百万円	100.0%	+14.0%	21.9%	△0.2pt

ポイント

- 得意先様のニーズに合わせた物流加工や「ニアワセ+ユーチョク」など独自の物流サービス強化
- 約371万アイテムに及ぶ商品データベースの整備とシステム連携の強化また、ネット通販会社様・電子購買連携企業様それぞれのご要望にお応えした物流対応により利便性向上を実現し、当社へのご注文が大きく増加しました。

通販企業向け業種別売上高構成比



【連結】セグメント別実績（ホームセンタールート）

ホームセンター様やプロショップ様を通じて、一般消費者などへ商品をお届けするルートです。各社EC事業を強化されていることから、当社の約57万アイテムの在庫と物流力を活用したサービスを積極的に提案し、売上高は前期比＋11.4%となりました。

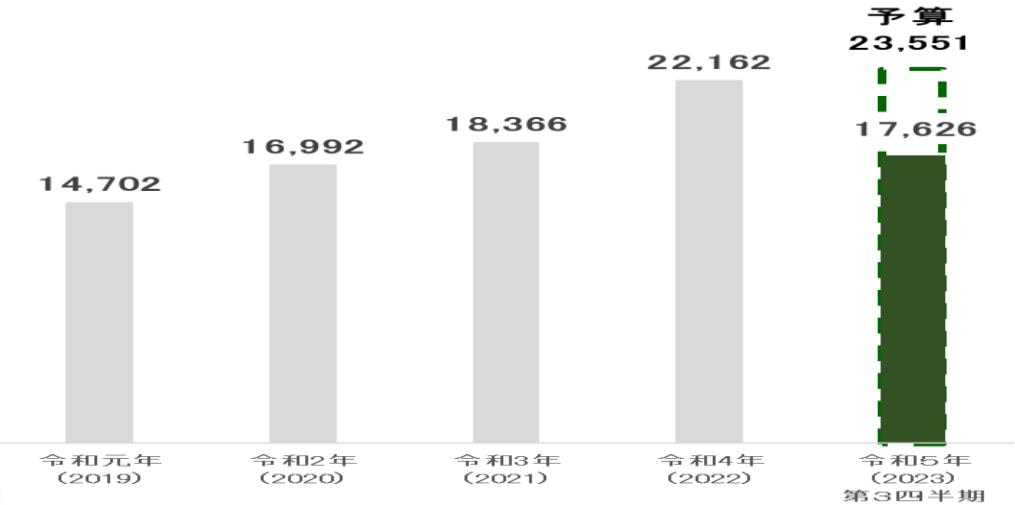
	令和4年(2022)12月期 通期 実績		令和5年(2023)12月期 第3四半期 実績			
	売上高	売上総利益率	売上高		売上総利益率	
	実績	実績	実績	前期比	実績	前期末比
ホームセンタールート	221億62百万円	17.4%	176億26百万円	+11.4%	17.2%	△0.2pt

ポイント

店舗とECの連携した取組みによる新規での商品納入権獲得及び商流集約や、当社との親和性の高いプロの職人さんや工員さんをターゲットにした店舗であるプロショップでの売上が増加しました。

・当社の約371万に及ぶ取扱いアイテム数と約57万アイテムの即納在庫を活用していただき、店舗の品揃え、ECサイトの充実を図るなど、継続的な売上拡大への施策に取り組みました。

ホームセンタールート売上高推移（単位：百万円）



【連結】セグメント別実績（子会社業績）

在庫アイテムの見直しや現地得意先様及び仕入先様の開拓を進めることで販売活動を強化しました。

	トラスコ中山 単体				トラスコナカヤマ タイランド				トラスコナカヤマ インドネシア			
	令和5年(2023)12月期 第3四半期 実績			通期予算	令和5年(2023)12月期 第3四半期 実績			通期予算	令和5年(2023)12月期 第3四半期 実績			通期予算
	金額	構成比	前期比	前期比	金額	構成比	前期比	前期比	金額	構成比	前期比	前期比
売上高	1,960億75百万円	100.0%	+8.7%	+7.8%	7億13百万円	100.0%	+13.6%	+13.3%	4億9百万円	100.0%	+14.3%	+33.9%
売上総利益	412億74百万円	21.1%	+10.2%	+9.2%	1億85百万円	26.0%	+21.1%	+19.9%	1億36百万円	33.2%	+30.3%	+31.6%
販売費及び一般管理費	281億99百万円	14.4%	△0.6%	+4.0%	1億25百万円	17.6%	+3.2%	+6.3%	1億20百万円	29.5%	+5.2%	+20.1%
内、減価償却費	46億63百万円	2.4%	△6.0%	△4.1%	16百万円	2.3%	△10.7%	+1.5%	40百万円	9.9%	△3.0%	+18.1%
営業利益	130億74百万円	6.7%	+44.3%	+22.5%	59百万円	8.4%	+90.1%	+79.7%	15百万円	3.8%	-	-
経常利益	131億52百万円	6.7%	+40.1%	+20.8%	63百万円	8.9%	+96.0%	+70.9%	20百万円	4.9%	-	+60.2%
四半期純利益	87億12百万円	4.4%	+34.9%	+14.6%	63百万円	8.9%	+96.0%	+70.9%	20百万円	4.9%	-	+60.2%

		売上高	売上総利益
その他海外地域への売上実績 (フィリピン、中国、韓国など)	実績	7億54百万円	1億85百万円
	率	-	24.6%
	前年同期比	+27.7%	+15.0%

ポイント

- ・タイにおいては現地のトップブランドの独自仕入先様開拓の強化、インドネシアでは在庫アイテムの見直しにより、納品リードタイムの短縮を実施、またローカル企業の新規得意先様との取引で販売領域を拡大しました。
- ・その他海外地域への販売では、アジア太平洋地域を中心にEC企業様との新規口座開設を行うなど、取引拡大に努めました。

【親単体】商品分類別売上高

(単位:百万円、%)											
商品分類(大分類)	中分類	全社売上高	構成比	前期比	粗利率	商品分類(大分類)	中分類	全社売上高	構成比	前期比	粗利率
1.切削工具	切削工具 計	6,119	3.1	+9.0	16.6	6.環境安全用品	環境安全用品 計	35,651	18.2	+7.1	22.4
	① 切削工具	3,150	1.6	-	12.0		㊵ 保護具	18,424	9.4	-	23.2
	② 穴あけ・ネジきり工具	2,968	1.5	-	21.4		㊶ 安全用品	7,983	4.1	-	25.8
2.生産加工用品	生産加工用品 計	14,403	7.4	+8.1	15.6		㊷ 環境改善用品	1,803	0.9	-	18.5
	③ 測定計測	7,584	4.0	-	15.0		㊸ 冷暖房用品	4,114	2.1	-	17.4
	④ メカトロニクス	3,038	1.5	-	15.2		㊹ 防災・防犯用品	1,701	0.9	-	19.3
	⑤ 工作機工具	1,779	0.9	-	23.9		㊺ 物置・エクステリア用品	1,624	0.8	-	16.1
	⑥ 電動機械	2,000	1.0	-	10.9	7.物流保管用品	物流保管用品 計	20,534	10.5	+2.8	22.5
							㊻ 荷役用品	5,749	2.9	-	17.9
3.工事用品	工事用品 計	22,801	11.6	+9.7	21.5		㊼ コンベヤ	839	0.4	-	15.5
	⑦ 油圧工具	1,525	0.8	-	11.2		㊽ 運搬用品	7,679	3.9	-	22.5
	⑧ ポンプ	2,845	1.5	-	16.5		㊾ コンテナ・容器	3,069	1.6	-	29.3
	⑨ 溶接用品	1,892	1.0	-	17.4		㊿ スチール棚	3,196	1.6	-	26.3
	⑩ 塗装・内装用品	1,962	1.0	-	26.2	8.研究管理用品	研究管理用品 計	7,923	4.0	+4.8	22.9
	⑪ 土木建築	1,820	0.9	-	14.0		㊶ ツールワゴン	688	0.4	-	28.8
	⑫ はしご・脚立	2,702	1.4	-	22.1		㊷ 保管・管理用品	973	0.5	-	30.2
	⑬ 配管・電設資材	3,707	1.9	-	22.8		㊸ 作業台	1,221	0.6	-	32.4
	⑭ 部品・金物・建築資材	6,344	3.2	-	27.0		㊹ ステンレス用品	1,535	0.8	-	18.3
4.作業用品	作業用品 計	37,715	19.2	+10.4	22.0		㊺ 研究開発関連用品	3,504	1.8	-	18.4
	⑮ 切断用品	1,204	0.6	-	21.8	9.オフィス住設用品	オフィス住設用品 計	16,948	8.7	+7.0	23.0
	⑯ 研削・研磨用品	5,845	3.0	-	23.9		㊻ 清掃用品	5,117	2.7	-	21.7
	⑰ 化学製品	19,961	10.2	-	20.9		㊼ 文具用品	2,070	1.1	-	20.0
	⑱ 工場雑貨	3,519	1.8	-	16.3		㊽ オフィス雑貨	2,483	1.3	-	27.9
	⑲ 梱包結束用品	4,759	2.4	-	30.9		㊾ 電化製品	2,548	1.3	-	22.9
	⑳ キャスター	2,425	1.2	-	17.9		㊿ OA事務用機器	1,667	0.9	-	23.5
5.ハンドツール	ハンドツール 計	32,936	16.8	+12.5	19.1		㊶ 事務用家具	2,846	1.5	-	23.3
	㊵ 電動工具・用品	9,655	4.9	-	14.4	10.その他	㊷ インテリア用品	213	0.1	-	19.0
	㊸ 空圧工具用品	5,342	2.7	-	18.2		㊸ 全体	1,041	0.5	+57.2	21.2
	㊹ 手作業工具	16,347	8.3	-	21.2		合計	196,075	100.0	+8.7	21.1
	㊺ 工具箱	1,591	0.8	-	28.8						

ポイント

工場の稼働に係る下記商品群で売上が増加しました

・ハンドツール:
前期比+12.5%

インパクトレンチなどの電動工具や手作業工具の売上が増加しました

・作業用品:
前期比+10.4%

特に接着剤やシーリング剤、テープ用品の売上が増加しました

・工事用品:
前期比+9.7%

各種工事用品の売上が増加しました

・切削工具:
前期比+9.0%

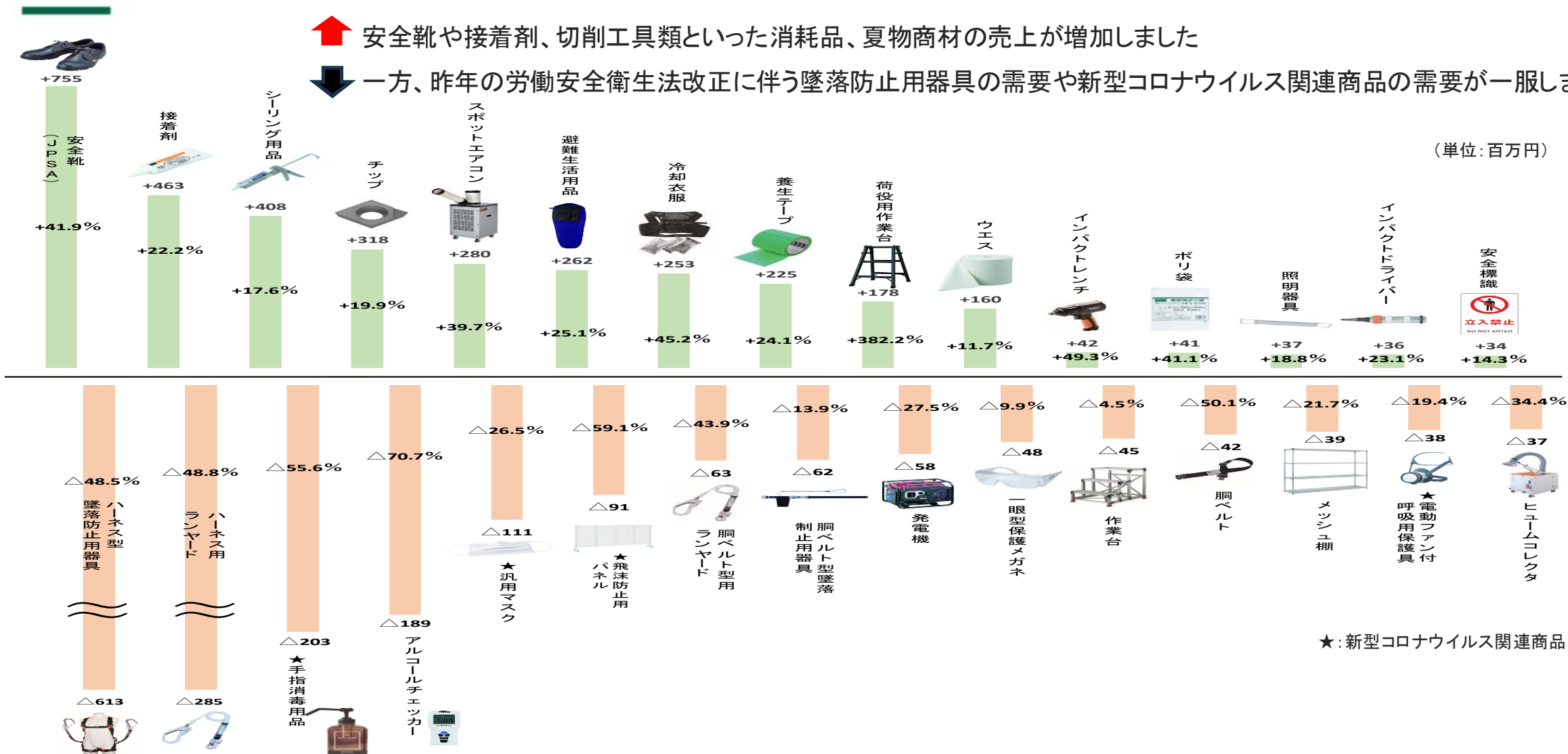
各種工事用品の売上が増加しました

【親単体】商品分類別(小分類)売上高増減グラフ

↑ 安全靴や接着剤、切削工具類といった消耗品、夏物商材の売上が増加しました

↓ 一方、昨年の労働安全衛生法改正に伴う墜落防止用器具の需要や新型コロナウイルス関連商品の需要が一服しました

(単位:百万円)



★:新型コロナウイルス関連商品

【親単体】プライベート・ブランド(PB)商品売上高

プライベート・ブランド「TRUSCO」の商品とナショナル・ブランド商品の取扱拡大スピードが異なるため、売上高構成は減少傾向ですが、プライベート・ブランド商品売上高拡大のため、ブラッシュアップを進めています。

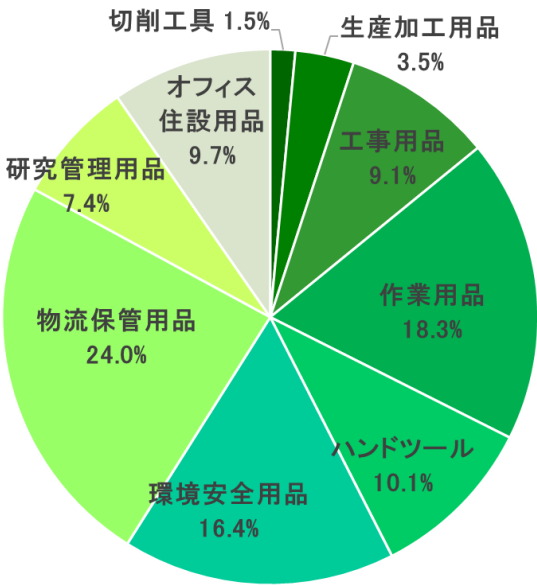


■セグメント別・商品分類別売上高

セグメント 商品分類	全体		ファクトリー		eビジネス		ホームセンター	
	構成比	18.4%	構成比	19.0%	構成比	22.4%	構成比	4.4%
	粗利率	36.4%	粗利率	37.3%	粗利率	34.5%	粗利率	28.9%
	売上高	前期比	売上高	前期比	売上高	前期比	売上高	前期比
合計	36,087	+5.8%	25,393	+3.0%	9,669	+15.0%	773	△2.7%
切削工具	541	+4.3%	389	+1.9%	92	+17.6%	53	+7.4%
生産加工用品	1,278	+6.0%	901	+2.4%	341	+17.1%	12	△8.6%
工事用品	3,270	+7.4%	2,232	+2.7%	965	+20.0%	45	△3.2%
作業用品	6,609	+10.5%	5,036	+7.6%	1,455	+22.4%	63	+5.5%
ハンドツール	3,639	+11.1%	2,523	+8.3%	972	+21.8%	83	△8.4%
環境安全用品	5,934	+4.5%	4,330	+3.3%	1,446	+7.4%	139	+9.7%
物流保管用品	8,647	+2.2%	5,880	△0.5%	2,380	+12.0%	353	△6.8%
研究管理用品	2,680	+1.1%	1,822	△4.0%	832	+13.7%	4	△14.3%
オフィス住設用品	3,485	+5.7%	2,276	+2.6%	1,181	+13.9%	18	△8.7%

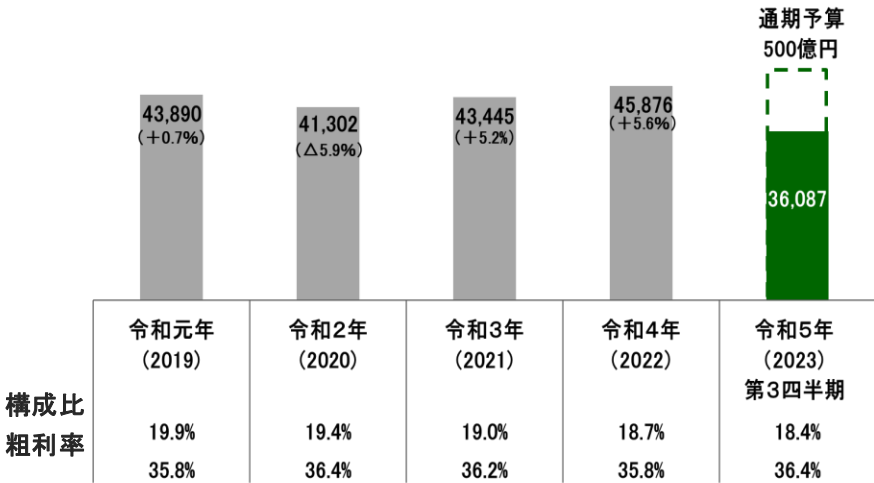
■PB商品売上高構成比

令和5年(2023)9月末時点



■PB商品売上高推移

(単位: 百万円) () 内前期比



04

財務等実績

【連結】販売費及び一般管理費

【連結】販売費及び一般管理費 詳細

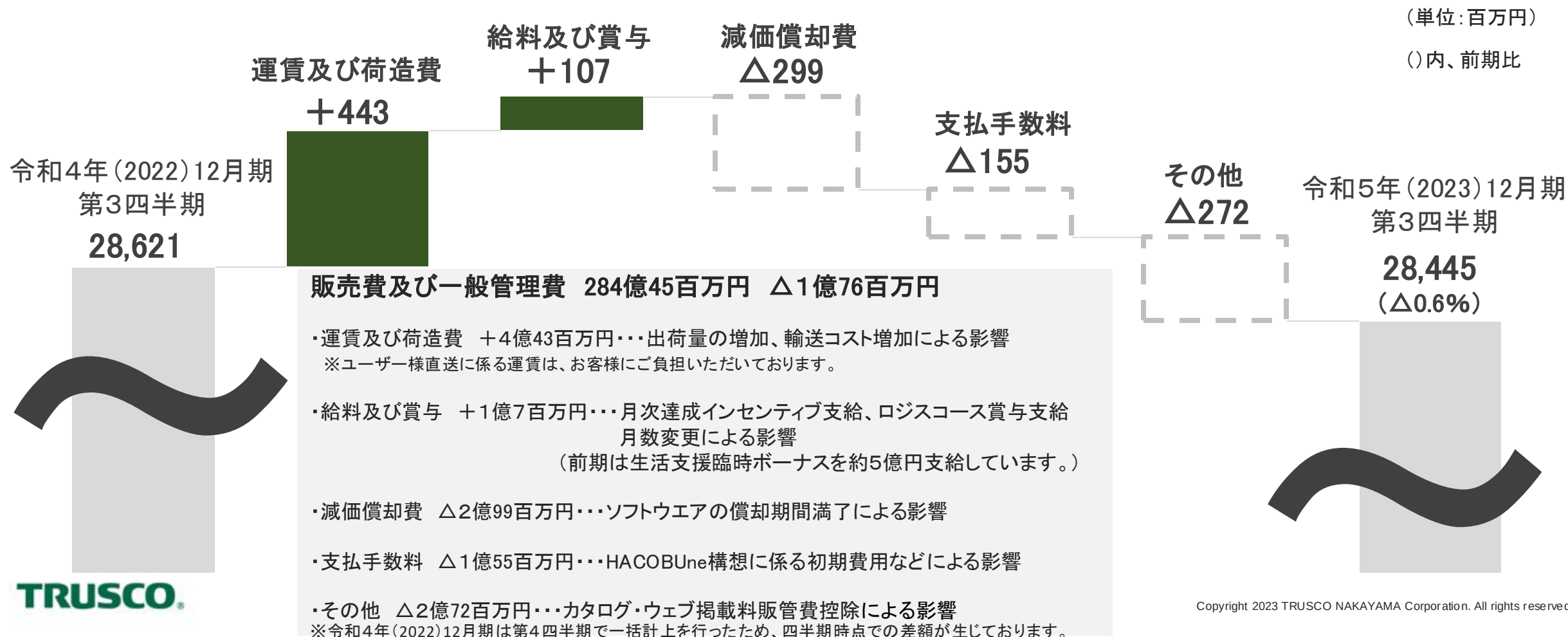
【連結】財務諸表・財務指標

【連結】設備投資一覧

今期の主な設備投資

【連結】販売費及び一般管理費

出荷量増加に伴い運賃及び荷造費が増加、給料及び賞与が増加しましたが、減価償却費や支払手数料等の減少により、販売費及び一般管理費は前期比△0.6%となりました。



【連結】販売費及び一般管理費 詳細

(単位:百万円)

No.	令和4年(2022)12月期		令和5年(2023)12月期 第3四半期				令和5年(2023) 通期予算	通期予算と 前年実績比
	実績	売上高 構成比	実績	売上高 構成比	前期 増減額	前期比		
1 給 料 及 び 賞 与	13,036	5.3%	9,048	4.6%	+107	+1.2%	13,592	+4.3%
2 運 賃 及 び 荷 造 費	7,630	3.1%	6,065	3.1%	+443	+7.9%	8,366	+9.7%
3 減 価 償 却 費	6,667	2.7%	4,720	2.4%	△299	△6.0%	6,402	△4.0%
4 支 払 手 数 料	2,638	1.1%	1,905	1.0%	△155	△7.5%	2,602	△1.4%
5 福 利 厚 生 費	2,343	1.0%	1,800	0.9%	+30	+1.7%	2,414	+3.0%
6 租 税 公 課	1,416	0.6%	1,002	0.5%	△35	△3.4%	1,330	△6.1%
7 賞 与 引 当 金 繰 入 額	8	0.0%	964	0.5%	+22	+2.4%	264	+3,111.6%
8 広 告 宣 伝 費	505	0.2%	467	0.2%	+75	+19.2%	585	+15.8%
9 旅 費 及 び 交 通 費	543	0.2%	423	0.2%	+13	+3.2%	547	+0.9%
10 消 耗 品 費	434	0.2%	409	0.2%	+86	+26.6%	520	+20.0%
11 水 道 光 熱 費	537	0.2%	363	0.2%	+36	+11.2%	552	+2.8%
12 通 信 費	434	0.2%	318	0.2%	△8	△2.5%	432	△0.5%
13 借 地 借 家 料	357	0.1%	270	0.1%	+0	+0.0%	358	+0.1%
14 役 員 報 酬	401	0.2%	222	0.1%	+9	+4.6%	432	+7.5%
15 車 両 費	283	0.1%	216	0.1%	△1	△0.9%	294	+4.0%
16 販 売 促 進 費	316	0.1%	198	0.1%	△82	△29.4%	229	△27.6%
17 交 際 費	42	0.0%	81	0.0%	+51	+172.9%	129	+205.0%
18 そ の 他	△104	0.0%	△33	0.0%	△468	—	△17	—
計	37,493	15.2%	28,445	14.5%	△176	△0.6%	39,040	+4.1%

【連結】財務諸表・財務指標

貸借対照表

令和5年(2023)9月末時点 (単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	124,927	流動負債	49,987
現金及び預金	39,094	買掛金	19,629
売掛金	32,044	短期借入金	10,000
電子記録債権	2,410	1年内返済予定の長期借入金	8,500
商品	50,364	未払金	6,389
その他	1,014	未払法人税等	2,271
貸倒引当金	△ 1	賞与引当金	974
固定資産	111,396	役員賞与引当金	99
有形固定資産	103,359	その他	2,123
建物(純額)	46,544	固定負債	29,044
機械及び装置(純額)	6,861	長期借入金	26,000
工具、器具及び備品(純額)	1,267	役員退職慰労引当金	151
土地	38,775	長期預り保証金	2,798
建設仮勘定	7,973	その他	93
その他(純額)	1,936	負債合計	79,031
無形固定資産	4,109	(総資産の部)	
ソフトウェア	2,794	株主資本	156,452
その他	1,314	資本金	5,022
投資その他の資産	3,928	資本剰余金	4,711
投資有価証券	2,977	利益剰余金	146,798
繰延税金資産	444	自己株式	△ 80
再評価に係る繰延税金資産	155	その他の包括利益累計額	157,292
その他	488	その他有価証券評価差額金	588
貸倒引当金	△ 138	土地再評価差額金	△ 353
		為替換算調整勘定	605
		その他の包括利益累計額合計	840
		純資産合計	157,292
資産合計	236,323	負債純資産合計	236,323



企業経営の大動脈である物流センター、支店社屋、データセンター、車両に至るまで、自社保有こそが最大の効果をもたらすと考え、「持つ経営」を推進しています。

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	令和4年(2022年) 第3四半期	令和5年(2023年) 第3四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,078	9,063	△ 15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,430	△ 6,163	△ 1,733
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,109	△ 3,562	△ 1,453
現金及び現金同等物に係る換算差額	104	83	△ 20
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,643	△ 578	△ 3,222
現金及び現金同等物の期首残高	41,449	39,400	△ 2,049
現金及び現金同等物の期末残高	44,093	38,822	△ 5,271

自己資本比率

	令和4年(2022) 末	令和5年(2023) 第3四半期	増減(pt)
自己資本比率	67.1%	66.6%	△ 0.5

その他財務指標

	令和3年(2021) 末	令和4年(2022) 末	増減(pt)
ROA(総資産経常利益率)	6.3%	6.7%	+ 0.4pt
ROE(自己資本利益率)	8.4%	7.2%	△ 1.2pt

＜ROEに対する考え方＞

当社では、企業価値向上のための継続的な投資をすることで利益を拡大し、長期的かつ安定的に上昇させることが重要だと考えています。お客様の利便性向上を大切にし、事業の結果としてROEが高まるというのが本来の姿であると考えています。

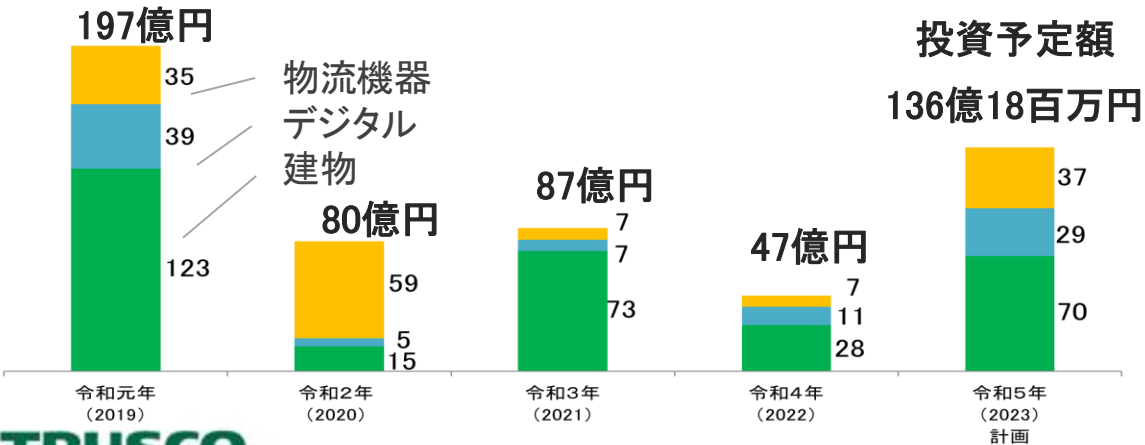
【連結】設備投資一覧

主な設備投資と予定

(単位:百万円)

令和5年(2023) 主な設備投資 内訳		令和5年(2023) 第3四半期 投資実績額	令和5年(2023) 第4四半期 投資予定額
物流機器	プラネット愛知物流機器設備設置工事先行発注費用 (投資予定総額:約95億円)【上期実績:約23億円】	3,713	4
	プラネット東関東 第2パレット自動倉庫 (投資総額:約27億円)【3Q実績:約6億円】		
	堺ストックセンター パレット自動倉庫 (投資総額:約18億円)【3Q実績:約5億円】 など		
デジタル	商品データベース「Sterra2.0」構築 (投資予定総額:約8億円)【3Q実績:約7億円、4Q予定額:約1億円】	1,268	1,596
	基幹システム「Paradise」などの機能強化 (投資予定総額:約3億円)【4Q予定額:約3億円】など		
建物	本町セントラルビル 改修費用 (投資予定総額:約16億円)【3Q実績:約8億円】	5,169	1,868
	プラネット愛知新築計画 (投資予定総額:約176億円)【3Q実績:約41億円、4Q予定額:約13億円】 など		
小計		10,150	3,468
年間設備投資額		13,618	

設備投資額の推移



<設備投資額に関して>

- ・設備投資予定額には、計画中のものも含まれているため、投資額は変動する場合があります。
- ・第61期はキャッシュアウトベースの金額で記載しております。

今期の主な設備投資

プラネット東関東パレット自動倉庫



所在地: 千葉県松戸市

稼働: 令和5年(2023)3月

敷地面積: 4,441坪(プラネット東関東)

延床面積: 8,986坪(プラネット東関東)

総投資額: 約26.8億円(第61期投資額: 約6億円)

新築部分にパレット自動倉庫を設置することで新たに4,556パレットの収納が可能となり、商品拡充による即納体制を強化します。

堺ストックセンター



所在地: 大阪府堺市

稼働: 令和5年(2023)4月

敷地面積: 999坪

延床面積: 1,404坪

総投資額: 約18.3億円(第61期投資額: 約5億円)

パレット自動倉庫を設置することで、3,304パレットの収納が可能となり、在庫保管能力の向上による即納体制を強化します。

プラネット愛知



所在地: 愛知県北名古屋市

竣工: 令和7年(2025)1月

稼働: 令和8年(2026)7月 予定

敷地面積: 12,595坪 延床面積: 26,795坪

設計・施工: 大成建設株式会社様

総投資額: 約300億円(予定)(第61期予定額: 約78億円)

品揃え強化(100万SKU)と「最速」「最短」「最良」のサービスを実現するとともに高効率な物流センターを目指します。

05

各種重要指標

デジタル

商品

販売

物流

人事

重要指標(デジタル)

重要指標		令和4年(2022)12月期	令和5年(2023)12月期 第3四半期	令和5年(2023)12月期 計画
デ ジ タ ル	見積自動化率(%)※1	22.6	27.1	28.0
	WEB見積依頼率(%)	46.0	46.9	50.0
	システム受注率(%)※2	85.2	86.7	86.0

※1 総見積行数(2023年1-9月累計): 655万行
※2 総受注行数(2023年1-9月累計): 3,006万行

2002年のインターネット受注システム「ウェブ
トラスコ」稼働より、受注の自動化を進めてま
いりました。また、2020年の基幹システム「パ
ラダイス3」稼働を皮切りに、サプライチェー
ンの中で自動化できる仕事は全て自動化す
ることを目的に利便性の向上に努めていま
す。

システム受注率 (2023年9月末時点)

受注形態	受注行数 (千行)	行数占有率	行数占有率 前期同期比(pt)	受注金額 (百万円)	金額占有率	金額占有率 前年同期比(pt)
トラスコ オレンジブック.Com (販売店様、ユーザー様用)インターネット受発注	11,661	38.8%	±0.0	85,187	43.4%	+1.3
トラスコEDI 販売店様発注システムとのデータ連携	7,004	23.3%	+1.6	27,881	14.2%	+0.6
オレンジコマース ユーザー様購買システムとの連携	783	2.6%	+0.2	5,747	2.9%	+0.3
EOS ホームセンター電子発注システム	6,612	22.0%	△0.2	15,965	8.1%	+0.2
計	26,061	86.7%	+1.6	134,781	68.7%	+2.5



AI見積「即答名人」[見積自動化率]

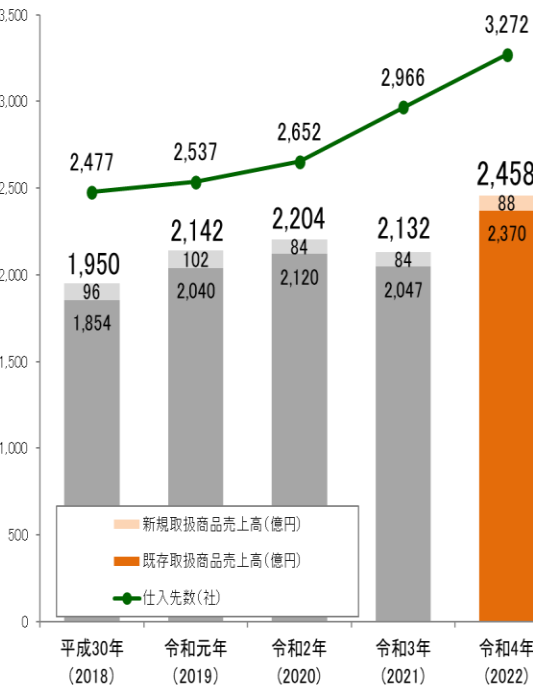
AIを活用し、見積を自動回答
得意先様よりいただく1日平均3万件の見積に、いかに早く返答
するかが課題の一つです。そこで、AIによる自動見積回答システ
ム「即答名人」を導入し、受注・見積実績をもとに、定期的に商
品の適正価格を自動計算する特価最適化をすることで見積の
自動化を推進。得意先様への回答スピード向上(最短5秒)につ
なげています。



重要指標(商品)

重要指標		令和4年(2022)12月期	令和5年(2023)12月期 第3四半期	令和5年(2023)12月期 計画
商品	トラスコ オレンジブック.Com公開 アイテム数(万アイテム)	316	383	420
	総仕入先数(社)	3,272	3,462	3,470
	内)海外仕入先数	329	335	350
	トラスコ オレンジブック 掲載メーカー数	2,152	2,152	2,320
	トラスコ オレンジブック 掲載アイテム数	374,000	374,000	374,000
	トラスコ デジタル オレンジブック 掲載アイテム数	374,000	374,000	444,000
	在庫アイテム数	562,026	574,976	595,000
	内)商品自動採用(アイテム)★	26,109	36,108	41,000
	PB商品開発・ブラッシュアップ数	—	—	1,000
	在庫総個数(万個)	5,319	5,553	5,600
	在庫金額(億円)	452	503	—

【親単体】全社売上高における
トラスコ オレンジブック新規掲載商品
売上高推移

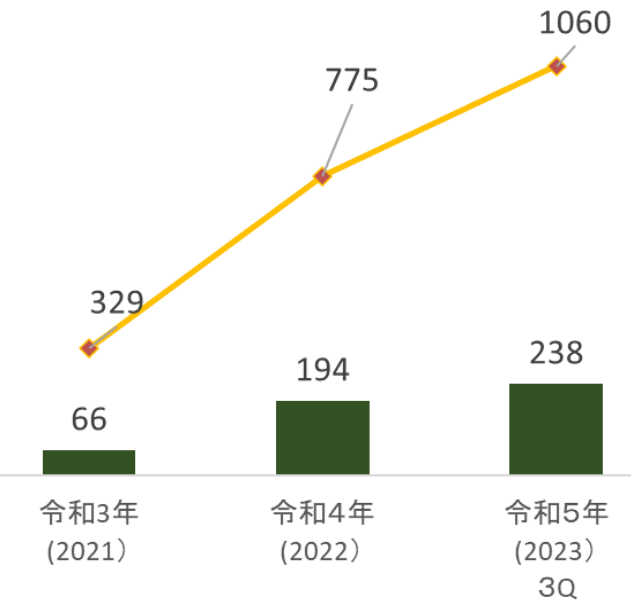


★販売実績データに基づいて売れ筋商品を自動在庫化するシステムを導入しています。

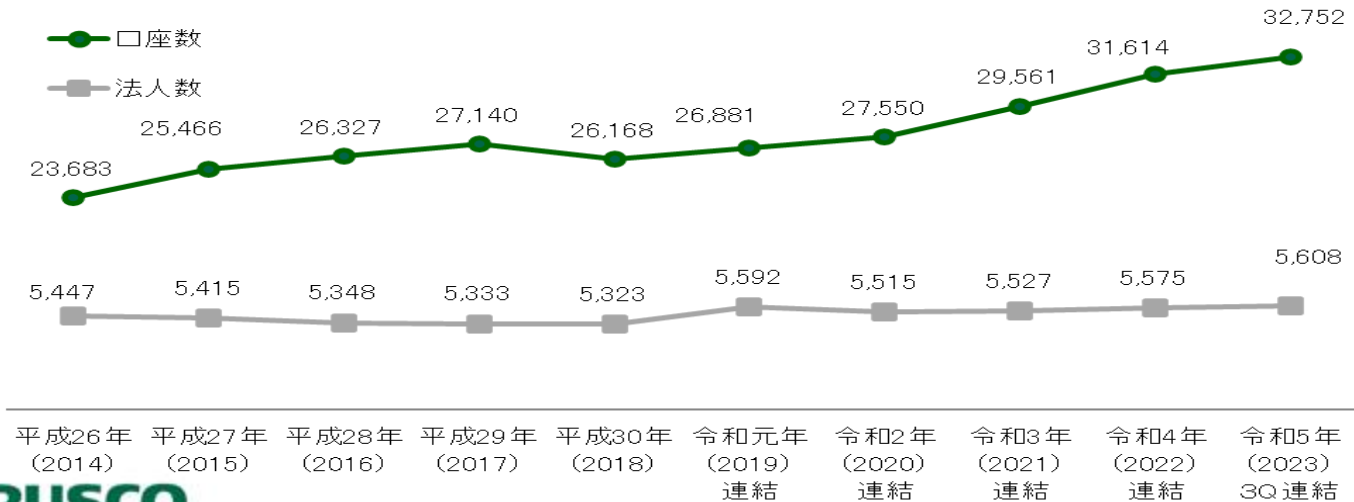
重要指標(販売)

重要指標		令和4年(2022)12月期	令和5年(2023)12月期 第3四半期	令和5年(2023)12月期 計画
販売	得意先法人数(社)	5,575	5,608	5,630
	得意先口座数(口座)	31,614	32,752	32,500
	オレンジコマース接続企業数(社)	2,233	2,327	2,600
	MROストッカー導入数(件)	775	1,060	1,000
	販売個数(百万個)	225	167	242

MROストッカーの設置件数と売上高の推移



【連結】販売口座数及び法人数の推移

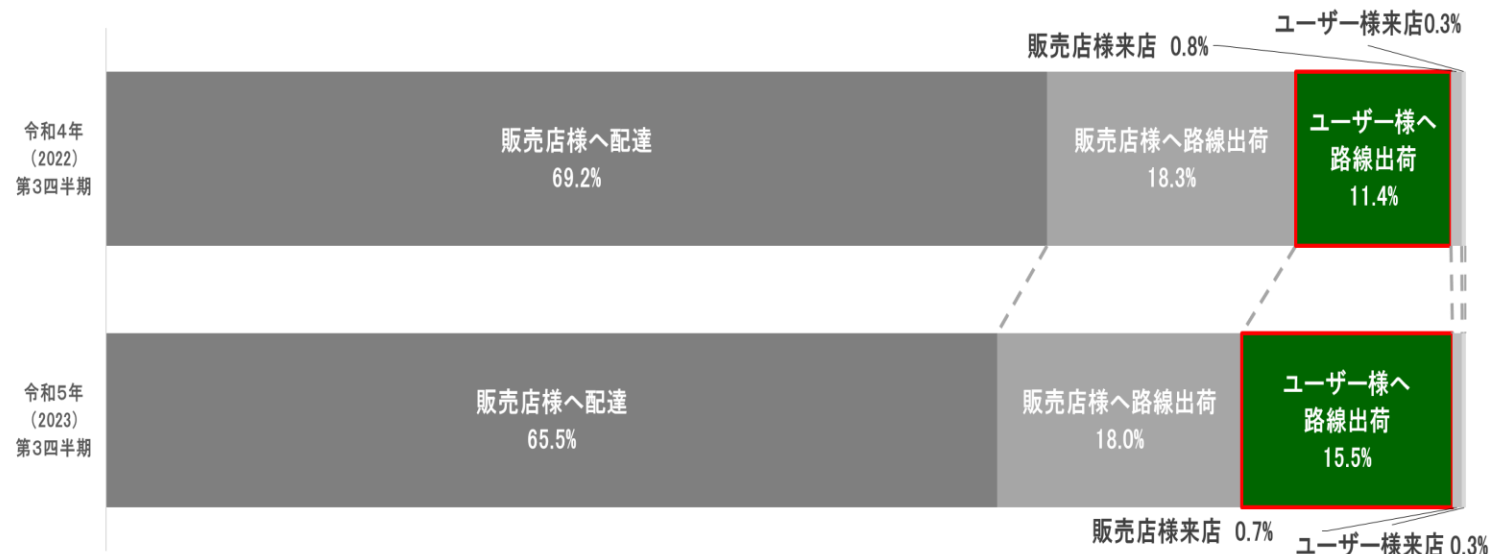


ーメリットー
管理コスト 0円
納期 0分
無駄遣い 0個

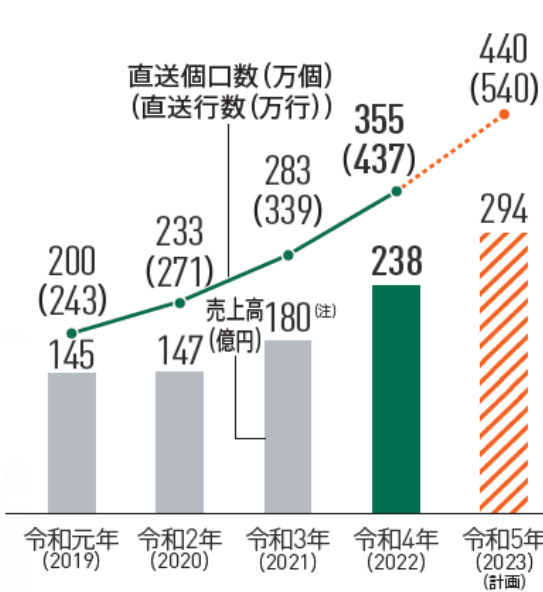
重要指標(物流)

重要指標		令和4年(2022)12月期	令和5年(2023)12月期 第3四半期	令和5年(2023)12月期 計画
物流	ユーザー様直送個口数(万個)	355	343	440
	ユーザー様直送行数(万行)	437	420	540
	入出荷1行当たり人件費(円)	113	116	108

納品区分別構成比(出荷行数別)



ユーザー様直送サービスの推移



ーメリットー

- 納期半減
- 配送負荷半減
- 作業負荷半減
- 梱包資材半減
- 環境負荷半減

I-Pack®

[高速自動梱包出荷ライン]

出荷能力 : 720CS/h(1ライン)、
約24人分

導入センター: プラネット東北、
プラネット埼玉(3ライン)、
プラネット東海、
プラネット大阪
計6ライン

※2024年にプラネット東関東へ
1ライン導入予定です。

重要指標(物流)

重要指標		令和4年(2022)12月期	令和5年(2023)12月期 第3四半期	令和5年(2023)12月期 計画
物流	在庫出荷率(%)	91.7	92.0	92.0
	傭車配達便数(台)	162	158	150
	自社配達便数(台)	116	118	124
	自社配達便率(%)	41.7	42.8	45.7
	納品リードタイム ※	20時間10分4秒	19時間14分46秒	—

配達便・社内間輸送 台数

	台数	前期末比
総配達便数	276台	△2台
傭車便(契約配達便)	158台	△4台
自社配達便	118台	+2台
社内間輸送便	32台	+2台
傭車便(契約便)	26台	±0台
自社便	6台	+2台
配達便・社内間輸送便 計	308台	±0台

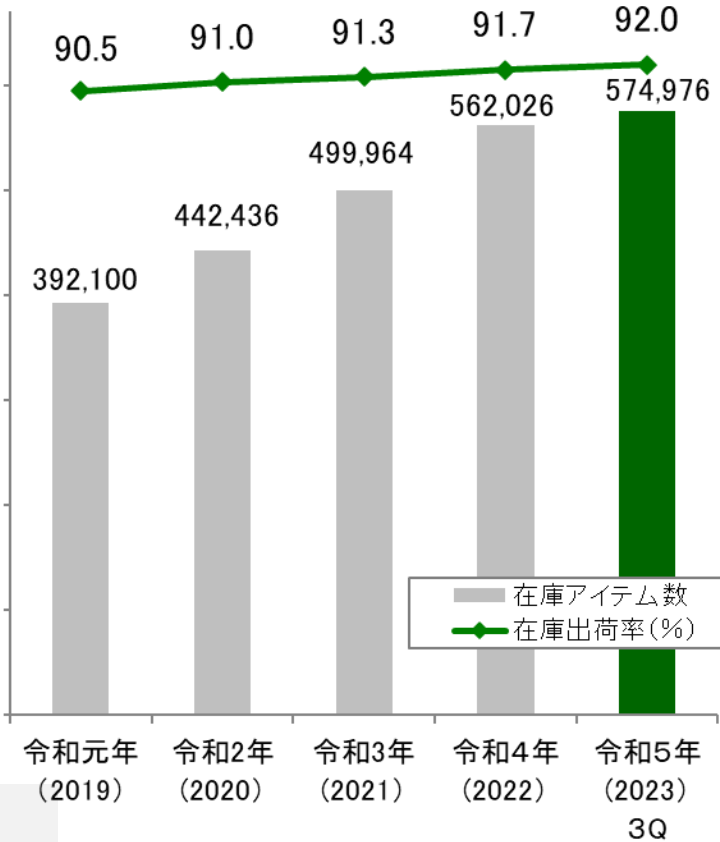
【親単体】在庫廃棄金額及び在庫金額の推移

	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)
廃棄金額(百万円)	39	42	50	55	65
在庫金額(億円)	370	427	406	416	441
廃棄率(%)	0.11	0.10	0.12	0.13	0.15

配送について

配送ルートや在庫の社内間移動を効率化することで配送便・社内間輸送便の見直しをすすめ、台数の適正化を図っています。また、お客様へのサービス向上を目指し、自社配送便(当社社員による配達便)の台数を増やしています。現在の自社配送便率は**42.8%**です。2024年には50%まで高めていく予定です。

在庫アイテム数と在庫出荷率(即納率)の推移



重要指標(人事)

社員数【連結】 令和5年(2023)9月末現在 (単位:名)

	女	男	合計	前期比
役員	1	11	12	+2
執行役員	0	0	0	△ 1
キャリア(海外・国内)	153	413	566	△ 12
デジタルキャリア	0	0	0	±0
ロジスキャリア	0	1	1	+1
キャリア(地域)	13	12	25	+17
スペシャリスト	11	14	25	△ 1
エリア	295	286	581	△ 17
エキスパート	1	0	1	+1
ロジスエリア	3	28	31	+9
ロジス	97	255	352	+12
契約社員	1	42	43	+5
現地法人	19	23	42	△ 2
健康保険組合出向者	2	0	2	±0
中山財団出向者	0	1	1	±0
社員計	595	1,075	1,670	+17
パート	983	360	1,343	+19
従業員計	1,579	1,446	3,025	+38

女性社員比率35.6%／女性セールス44人／女性キャリア比率28.0%
※パートタイマーの人数は実際の雇用人数

平均年齢・年収

	平均年齢(歳)			平均年収(万円)			
	女	男	全体	キャリア	エリア	ロジス	全体
令和4年(2022)	33.0	43.4	39.8	771	633	494	661
令和3年(2021)	32.8	43.2	39.6	724	596	456	615
令和2年(2020)	32.1	41.9	38.4	721	601	461	619
令和元年(2019)	31.3	42.0	38.2	758	642	492	655
平成30年(2018)	30.9	42.1	38.2	804	680	520	701

※全体平均年収は執行役員を含み、退職金「ファイナンシャルボンド」を除く金額
※平成26年度より業績連動型賞与を支給開始。令和元年(2019)より業績連動型賞与中止のため減額。
※令和元年(2019)12月期より連結決算開始のため、令和元年(2019)12月期より平均年齢は連結、平均年収は全て単体のデータです。
※令和4年(2022)の平均年収には物価高騰による生活支援臨時ボーナスが含まれております。

入社者数および退職者数【連結】

	令和元年(2019)		令和2年(2020)		令和3年(2021)		令和4年(2022)		令和5年(2023)9月末	
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男
社員数(名)	585	1,071	589	1,085	571	1,061	577	1,062	595	1,075
	1,656		1,674		1,632		1,639		1,670	
入社者(名)	52	57	41	46	26	25	47	51	58	55
	109		87		51		98		113	
退職者(名)	42	44	37	33	45	45	39	44	40	38
	86		70		90		83		78	
離職率(%)	6.7	3.9	5.9	3.0	7.3	4.1	6.3	4.0	6.3	3.4
	4.9		4.0		5.2		4.8		4.5	

06

経営計画

【連結】第61期通期予算について

【連結】四半期ごとの実績・予算(四半期)

【連結】四半期ごとの実績・予算(累計)

— 能力目標 —
— 姿 —
— ありたい姿 —

【連結】第61期通期予算について

■令和5年(2023)12月期 計画

	令和5年(2023)12月期 期初予算	構成比	令和5年(2023)12月期 計画	構成比	前年比
売上高	2,650億90百万円	—	2,660億80百万円	—	+8.0%
売上総利益	553億50百万円	20.9%	569億70百万円	21.4%	+9.2%
販売費及び一般管理費	396億50百万円	15.0%	390億40百万円	14.7%	+4.1%
(内、減価償却費)	63億97百万円	2.4%	64億2百万円	2.4%	△4.0%
営業利益	157億00百万円	5.9%	179億30百万円	6.7%	+22.2%
経常利益	159億70百万円	6.0%	182億20百万円	6.8%	+20.9%
親会社に帰属する 当期純利益	109億20百万円	4.1%	121億90百万円	4.6%	+14.7%
1株当たり配当金	41円50銭	—	46円50銭	—	+6円50銭

令和5年(2023)8月10日に業績予想の修正及び配当予想の修正を決定しました。

売上高については、上期実績(約10億円の上振れ)を期初予算に加算して上方修正しております。

売上総利益については、在庫評価益約5億円の計上を考慮し、販売費及び一般管理費については、上期の実績を元に変更しております。

【連結】四半期ごとの実績・予算(四半期)

令和5年(2023) 12月期 第3四半期【四半期ごと】

(単位:百万円)

		第1四半期 (+ 2 日)			第2四半期 (+ 1 日)			第3四半期 (± 0 日)			第4四半期 (± 0 日)		
		予算/実績	構成比	前年同期比	予算/実績	構成比	前年同期比	予算/実績	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年同期比
売上高	予算	65,925	100.0	+7.8	64,535	100.0	+ 8.4	64,898	100.0	+ 7.7	69,735	100.0	+ 6.4
	実績	65,983	100.0	+7.9	65,407	100.0	+ 9.9	65,193	100.0	+ 8.2	-	-	-
売上総利益	予算	13,653	20.7	+6.0	13,378	20.7	+ 7.1	13,480	20.8	+ 8.9	15,336	22.0	+ 6.5
	実績	13,234	20.1	+2.7	14,953	22.9	+ 19.7	13,419	20.6	+ 8.4	-	-	-
販売費及び一般管理費	予算	9,714	14.7	+3.4	10,209	15.8	+ 1.6	9,746	15.0	+ 6.2	10,258	14.7	+ 15.6
	実績	9,319	14.1	△0.8	9,712	14.8	△ 3.4	9,413	14.4	+ 2.6	-	-	-
営業利益	予算	3,939	6.0	+12.9	3,169	4.9	+ 29.6	3,734	5.8	+ 16.7	5,078	7.3	△ 8.2
	実績	3,915	5.9	+12.3	5,240	8.0	+ 114.3	4,005	6.1	+ 25.1	-	-	-
経常利益	予算	3,981	6.0	+8.4	3,239	5.0	+ 30.8	3,789	5.8	+ 16.5	5,184	7.4	△ 8.5
	実績	3,972	6.0	+8.2	5,296	8.1	+113.9	3,946	6.1	+ 21.3	-	-	-
親会社株主に帰属する 四半期/当期純利益	予算	2,719	4.1	+7.3	2,213	3.4	+ 29.0	2,595	4.0	+ 16.9	3,550	5.1	△ 14.6
	実績	2,675	4.1	+5.6	3,390	5.2	+ 97.6	2,702	4.1	+ 21.7	-	-	-

※予算に関しまして、第1四半期・第2四半期は期初予算、第3四半期・第4四半期は8月10日発表の修正予算にて記載しております。

【連結】四半期ごとの実績・予算(累計)

令和5年(2023) 12月期 第3四半期【累計】

(単位:百万円)

		第1四半期 (+ 2 日)			第2四半期 (+ 3 日)			第3四半期 (+ 3 日)			通 期 (+ 3 日)		
		予算/実績	構成比	前年同期比	予算/実績	構成比	前年同期比	予算/実績	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年比
売上高	予算	65,925	100.0	+7.8	130,460	100.0	+8.1	196,345	100.0	+ 8.5	266,080	100.0	+ 8.0
	実績	65,983	100.0	+7.9	131,390	100.0	+8.9	196,583	100.0	+ 8.7	-	-	-
売上総利益	予算	13,653	20.7	+6.0	27,031	20.7	+6.5	41,634	21.2	+ 10.3	56,970	21.4	+ 9.2
	実績	13,234	20.1	+2.7	28,188	21.5	+11.1	41,607	21.2	+ 10.2	-	-	-
販売費及び一般管理費	予算	9,714	14.7	+3.4	19,923	15.3	+2.5	28,782	14.7	+ 0.6	39,040	14.7	+ 4.1
	実績	9,319	14.1	△0.8	19,031	14.5	△2.1	28,445	14.5	△ 0.6	-	-	-
営業利益	予算	3,939	6.0	+12.9	7,108	5.4	+19.8	12,852	6.5	+ 40.7	17,930	6.7	+ 22.2
	実績	3,915	5.9	+12.3	9,156	7.0	+54.3	13,162	6.7	+ 44.1	-	-	-
経常利益	予算	3,981	6.0	+8.4	7,220	5.5	+17.4	13,036	6.6	+ 38.7	18,220	6.8	+ 20.9
	実績	3,972	6.0	+8.2	9,269	7.1	+50.8	13,215	6.7	+ 40.6	-	-	-
親会社株主に帰属する 四半期/当期純利益	予算	2,719	4.1	+7.3	4,932	3.8	+16.0	8,640	4.4	+ 33.5	12,190	4.6	+ 14.7
	実績	2,675	4.1	+5.6	6,066	4.6	+42.7	8,768	4.5	+ 35.5	-	-	-

※予算に関しまして、第1四半期・第2四半期は期初予算、第3四半期・第4四半期は8月10日発表の修正予算にて記載しております。

「ありたい姿」—能力目標—

01 2030年までに在庫100万アイテムを保有できる企業になりたい。

所在地: 愛知県北名古屋市

竣工: 令和7年(2025)1月

稼働: 令和8年(2026)7月 予定

敷地面積: 12,595坪 延床面積: 26,795坪

設計・施工: 大成建設株式会社様

総投資額: 約300億円(予定)(第61期予定額: 約78億円)



02 1日24時間受注、1年365日出荷できる企業になりたい。

03 欠品、誤受注、誤出荷のない企業になりたい。

04 棚卸作業のない企業になりたい。 (2022年末時点 棚卸差異率: 0.43%)

05 問屋であってもユーザー様直送をストレスなくできる企業になりたい。

06 お見積りに瞬時にお応えできる企業になりたい。 (2023年9月末時点の見積自動回答率: 27.1%)

07 業界「最速」「最短」「最良」の納品を実現できる企業になりたい。

08 可能な限り環境負荷の小さい企業になりたい。

09 リサイクル、リユース、リターナブルにも積極的な企業になりたい。 (修理工房「直治郎」2022年度実績: 18億17百万円)

10 日本のモノづくりを支えるプラットフォームになりたい。

11 業界の常識、習慣、定説、定石を塗り替えることのできる企業になりたい。

07

ESG情報

TRUSCO「やさしさ、未来へ」プロジェクト

サステナビリティに関する指標

その他、環境に係る施策や取組み

社会との関わり・コーポレートガバナンス

TRUSCO「やさしさ、未来へ」プロジェクト

TRUSCO「やさしさ、未来へ」プロジェクト

当社では、「私たちの小さな小さな取り組みが、未来の大きな思いやりにつながるよう、地球に優しい企業を目指します」という想いから、1998年に「やさしさ、未来へ」という環境理念を掲げ、さまざまな環境への取り組みを行ってきました。

サステナビリティという言葉が広まる20年以上前から、地球社会を未来へつないでいくという考えが会社根付いてきているのです。

これまで、「やさしさ、未来へ」は環境のみを指す言葉でしたが、これからは、TRUSCO「やさしさ、未来へ」プロジェクトとして地球環境も含めたヒトと社会の未来へ向けた取り組みを行っていきます。



詳細はこちら

「やさしさ、未来へ」基本方針 ～TSV～

「人や社会のお役に立ててこそ事業であり、企業である」というところざしのもと、事業を通じて社会価値と企業価値の両方を生み出すこと(TSV※)で、社会課題の解決や持続可能な地域社会へ貢献します。

※TSVはTRUSCO+CSV(Creating Shared Value: 共有価値の創造)から命名しています。

この基本方針のもと、ヒトと社会の未来へ向けた取り組みを行っていきます。

サステナビリティに関する指標

CO₂排出量(2022年末時点)

燃料の使用におけるCO₂排出量(Scope1) 2,327t-CO₂／電気の使用におけるCO₂排出量(Scope2) 8,109t-CO₂

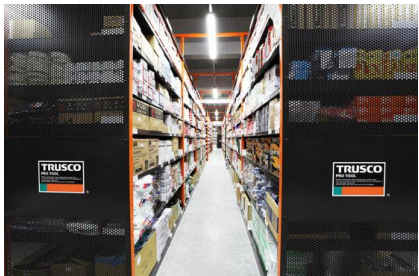
サプライチェーンにおけるCO₂排出量(Scope3※) 1,724,759t-CO₂ ※ Scope3 のみ2021年の実績となります。



Ⅰ各種サービスによるCO₂排出削減量 年間CO₂排出削減量 12,781t-CO₂



	削減量 (t-CO ₂)	削減量計算式
ニアワセ(荷物合わせ)とユーザー様直送	1,835	梱包材使用半減 + 梱包材廃棄半減 + 配送回数半減
MROストッカー	3,100	配送回数減少 + 買い出しなし
修理工房「直治郎」	2,777	新品購入の排出量 - 「直治郎」で修理した場合の排出量
固定費型物流(固定ルート配送)	3,769	梱包材使用なし + 梱包材廃棄なし + 配送距離削減
幅広い在庫	1,300	仕入先様から販売店様に都度出荷した場合の排出量 - トラスコの在庫としてまとめて出荷した場合の排出量



修理工房
直治郎
なおじろう



TRUSCO

サステナビリティに関する指標

トラスコ発電所(太陽光、風力発電)19か所

2022年 年間発電量 **2,653,344kWh**

※約600世帯分の年間電力使用量に相当

(環境省HP「家庭部門のCO₂排出実態統計調査」より)

再生可能エネルギー電力自給率 **16.4%**

「TRUSCO」商品の環境対応

商品企画開発において環境基準を定め、製品設計から商品の使用、廃棄に至るまでの各側面から環境に配慮した商品開発を進めています。既存の商品についても、積載効率の向上や容器梱包に使用する資源の削減を進めています。



TRUSCO Air Forest For Factory 品番:AFF250など

切削油の劣化したにおい等、工場特有のにおい成分を消臭する工場専用消臭剤です。北海道トドマツの森の間伐材を有効活用した「機能性樹木抽出成分」を配合しており、未利用のまま森に残されていた間伐材を活用することで「循環型社会」に貢献する商品です。

TRUSCO



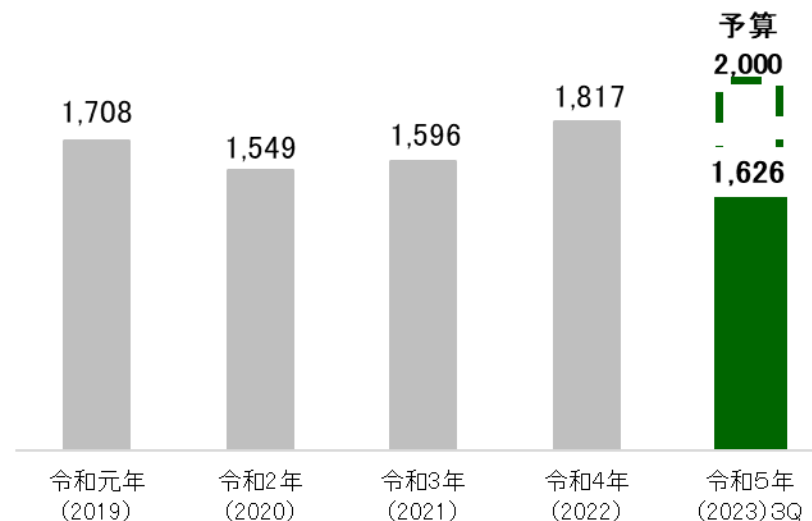
修理工房「直治郎(なおいろう)」の役割

プロツールに欠かせない安全性や精度を維持し、使い慣れた工具・設備等を長く使うことで環境負荷を抑えるとともに、コスト削減に貢献することを目的としたサービスです。2022年1月からは直治郎課を再設し、サービスの浸透・向上に努めます。

修理工房「直治郎」8つのサービス

修理	再研磨	校正	リユース
加工	メンテナンス	組立	施工・設置

修理工房「直治郎(なおいろう)」売上高



その他、環境に係る施策や取り組み



環境への取り組みは「いつからやっているか」が重要です。
当社では、20年以上前から、社屋から一人ひとりの社員、事業施策、商品開発まで多岐に渡って、「やさしさ、未来へ」の想いのもと、環境に配慮した取り組みを行っています。

設備		人
シーリングファン取付	空気井戸ボイド	フリースジャンパー (2002)
人感センサー付蛍光灯	サンドイッチパネル	ゴアテックスジャンパー (2002)
W折板屋根	井戸水の屋根散水 (2007)	ネックウォーマ、ひざ掛け (2012)
地下冷気の利用	太陽光パネルの設置 (1998)	退社30分前エアコンオフ
施策		商品
在庫化による残業削減	FAX OCR「ドットクル」 (2000)	2インチ紙管テープ
物品受領書の廃止 (2001)	システム受注 (2002)	ノンガススプレー
メーカーカタログの在庫	ピッキングリストの紙出力廃止 (2012)	リターンクッション

社会との関わり・コーポレートガバナンス

一社提供テレビ番組「TRUSCO 知られざるガリバー」

「世界に誇る日本企業を紹介することで日本に誇りと活力を与えたい」という当社の想いを伝える一社提供番組です。毎回1社ずつ、日本企業の姿や想いをご紹介します。



平成29年(2017)開始

NGO団体ペシャワール会への寄付

令和2年(2020)開始

干ばつが進行するアフガニスタンで、「百の診療所より一本の用水路」という思いから総合的農村復興事業の活動をするペシャワール会を支援するために寄付を行っています。



故・中村哲医師とアフガニスタンの職員

オープンジャッジシステム(OJS=360度評価)

上司だけでなく、同僚や部下からの様々な評価が行われる、当社独自の評価システムです。評価コメントをフィードバックし、各人の行動改革につなげる目的があります。

種類	回数	運営内容
人事考課 OJS	年2回	同じ職場で働く従業員同士(上司、同僚、部下)でOJSを行い人事考課に反映させる
昇格 OJS	年1回	その従業員を知る全社員で評価し、その結果を昇格などの人事の処遇に反映させる

※対象は役員を除く正社員とパートタイマーの全従業員。

平成15年(2003)開始

平成13年(2001)開始

取締役会(経営会議)

原則月1回開催する取締役会において意思決定を行っています。より広い視野と透明性を確保するために、執行役員、部長などの参加者からの意見を広く求める運用をしています。



2022年11月度取締役会
(経営会議)の様子

08

参考情報

株式情報

業界での指数比較

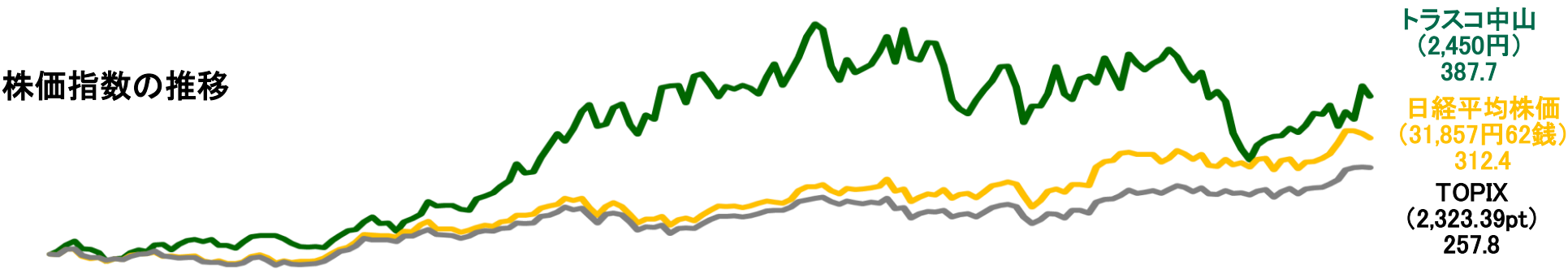
当社売上高指数・鋁工業生産指数

株式情報

株主情報（単位:名）

	令和2年 (2020) 12月末	令和3年 (2021) 6月末	令和3年 (2021) 12月末	令和4年 (2022) 6月末	令和4年 (2022) 12月末	令和5年 (2023) 6月末
株主合計	16,336	14,903	14,406	16,212	15,466	15,111
単元株主	15,514	14,030	13,527	15,190	14,436	13,798
単元未満株主	821	872	878	1,021	1,029	1,312
自己名義株式	1	1	1	1	1	1
金融機関・証券会社	65	69	61	59	55	53
国内法人	553	544	533	546	540	542
外国法人等	201	203	203	212	222	217
個人その他	15,516	14,086	13,608	15,394	14,648	14,298
自己名義株式	1	1	1	1	1	1

株価指数の推移



2023年10月20日（金）

当社株価 終値
2,315円

日経平均株価 終値
31,259円36銭

TOPIX
2,255.65pt

平成22年(2010)1月

平成22年(2010)1月を100とした場合の各指標の動きを数値化しています。

令和5年(2023)9月

業界での指数比較

同業界の商社、直販企業(上場企業)の業績

【卸売】

		決算月				時価総額 (億円)
				売上高(百万円)	前年比	
(株)山善	2023年	3月	実績	527,263	+5.1	1,136
ユアサ商事(株)	2023年	3月	実績	504.806	+9.1	901
トラスコ中山(株)	2022年	12月	実績	246,453	+8.6	1,528
(株)日伝	2023年	3月	実績	131,609	+6.2	823
フルサト・マルカHD(株)	2022年	12月	実績	162,416	－	692
(株)NaITO	2023年	2月	実績	44,457	+ 1.9	79
杉本商事(株)	2023年	3月	実績	45,558	+5.7	244
7社合計		－		1,662,562	－	－

機械工具業界の商社には左記のような企業がありますが、卸売業・小売業で事業展開が異なり、それぞれ取扱う主力商品も異なっています。当社は工作機械などの大型機械の取扱い無く、消耗品の取扱いが中心です。

【小売】

		決算月				時価総額 (億円)
				売上高(百万円)	前年比	
(株)ミスミグループ	2023年	3月	実績	373,151	+1.9	6,642
(株)MonotaRO	2022年	12月	実績	225,970	+19.1	6,093
2社合計		—		599,121	—	—

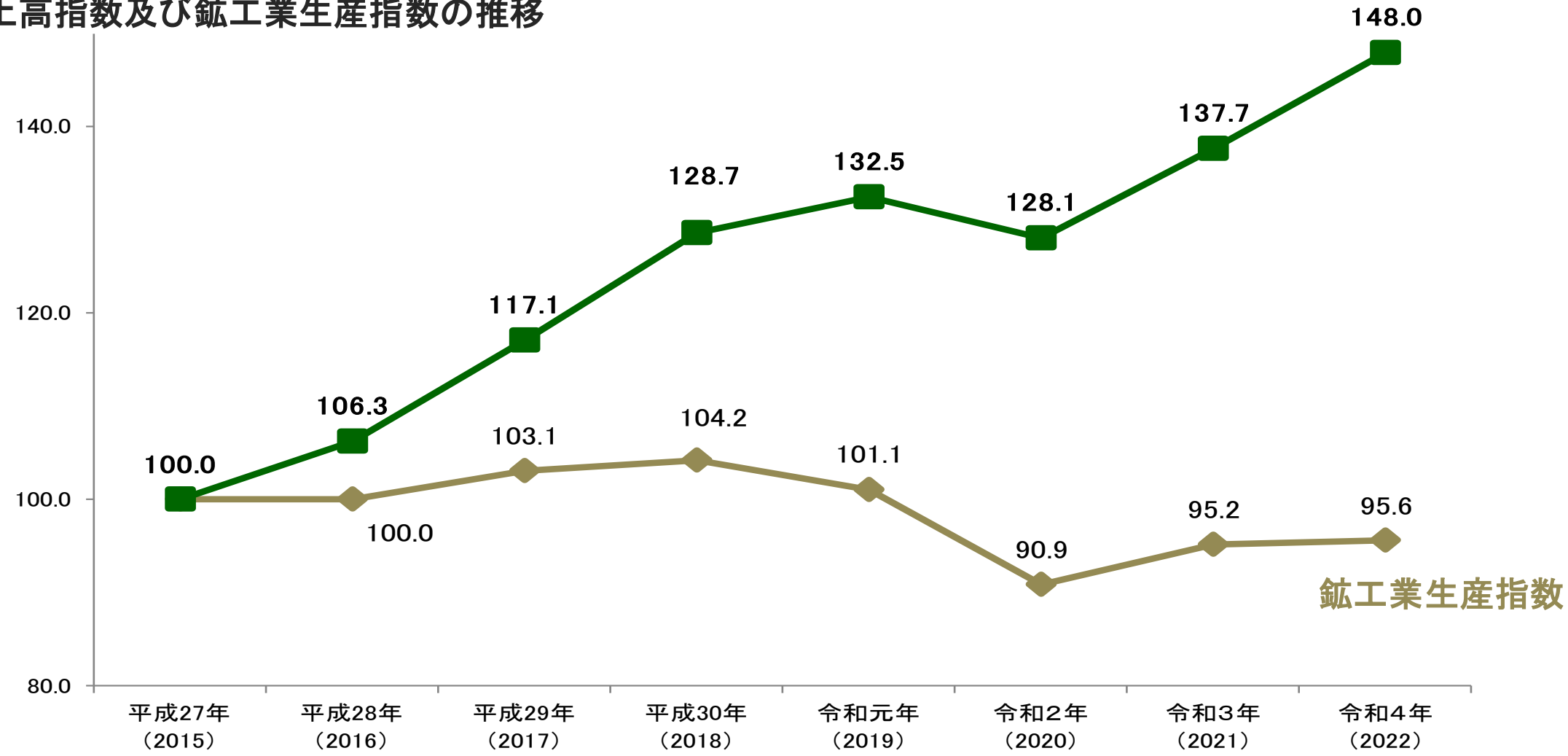
※連結決算を発表している会社は連結決算の数値を記載しています。
※各数値は令和5年(2023)10月20日時点で公表されている実績及び予想を記載しています。
※時価総額は、令和5年(2023)10月20日終値にて記載しています。

当社売上高指数・鉱工業生産指数



当社売上高指数及び鉱工業生産指数の推移

トラスコ中山売上高指数



鉱工業生産指数



※指数基準: 平成27年(2015)を100とする。
※鉱工業生産指数は令和5年(2023)1月31日に経済産業省より公表された数値